



**UPSS**

ONLINE UPS

**UPSS-X3**

**バッテリーボックス**

**15分, 25分, 35分, 45分**

**取扱説明書**

# はじめに

このたびは、Uninterruptible Power Supply 無停電電源装置UPSS-X3（以下UPSという）およびバッテリーボックスをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、お客様とサービス員\*の安全を守るため、バッテリーボックスの操作および取り扱い、保守時に守らなければならない重要事項が記載されています。バッテリーボックスを正しく安全にご使用いただくため、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は、いつでもご覧になれる場所にUPSの取扱説明書といっしょに保管してください。

このUPSは、温度管理された、導電性の汚染物のない環境に設置してください。

## 目次

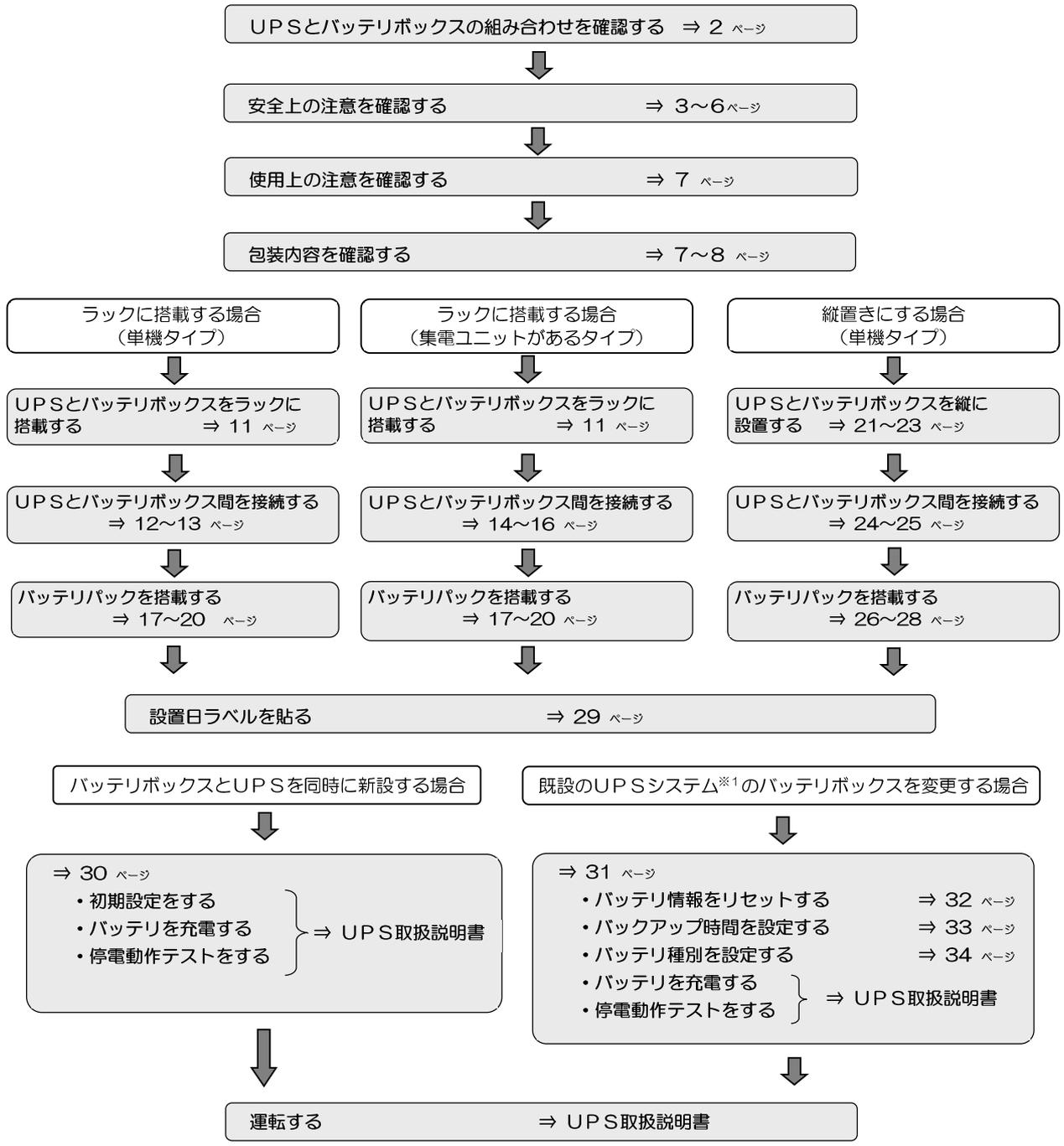
1. はじめに・・・ご使用前にお読みください。.....	1
1.1 型番とバックアップ時間を確認する.....	2
1.2 安全上のご注意.....	3
1.3 使用上のご注意.....	7
1.4 包装内容の確認.....	7
2. 外形寸法および各部の名称.....	9
3. バッテリーボックスの設置・配線 必ずサービス員が実施してください。.....	10
3.1 設置環境を確認する.....	10
3.2 設置スペースを確認する.....	10
3.3 ラックに搭載して使用する場合.....	11
3.3.1 UPSとバッテリーボックスをラックに搭載する.....	11
3.3.2 UPSとバッテリーボックスを接続する.....	12
3.3.2.1 単機タイプUPSの場合.....	12
3.3.2.2 集電ユニットがあるUPSの場合.....	14
3.3.3 バッテリーパックを搭載する.....	17
3.4 縦置きにして使用する場合（単機タイプUPSの場合のみ）.....	21
3.4.1 UPSとバッテリーボックスを縦に設置する.....	21
3.4.2 UPSとバッテリーボックスを接続する.....	24
3.4.3 バッテリーパックを搭載する.....	26
3.5 設置目ラベルを貼る.....	29
4. 運転前の準備.....	30
4.1 バッテリーボックスとUPSを同時に新設する場合.....	30
4.2 既設UPSのバッテリーボックスを変更する場合.....	31
4.2.1 作業手順.....	31
4.2.2 バッテリー情報をリセットする.....	32
4.2.3 バックアップ時間を設定する.....	33
4.2.4 バッテリー種別を設定する.....	34
5. 点検・保守.....	35
6. 仕様.....	36
付録. バックアップ時間とバッテリー種別 設定値一覧.....	37

### ※サービス員について

電気設備施工に関する専門知識を有するサービス技術員、または当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。当該サービス員以外は施工・保守作業を実施しないでください。

# 1. はじめに・・・ ご使用の前にお読みください。

バッテリーボックスとUPSを安全に設置し、正しくご使用いただくため、取扱説明書の手順どおりに作業してください。



### ご注意

- ※1. UPSとバッテリーボックスを組み合わせた装置全体のことをUPSシステムと呼びます。
- ※2. UPSの取扱説明書は、UPSに添付されています。UPSの設置、操作についての詳細は、UPSS-X3 取扱説明書をご覧ください。LCDパネルのメニュー、操作については、LCDパネル操作説明書に記載されています。下記のURLにアクセスし、UPSS-X3のページからダウンロードしてご覧ください。

[https://www.ups-sol.com/support/catalog\\_manual\\_list/](https://www.ups-sol.com/support/catalog_manual_list/)



## 1.1 型番とバックアップ時間を確認する

このバッテリーボックスはUPSS-X3 シリーズ専用です。

バックアップ時間により接続するバッテリーボックスの型番、搭載するバッテリーパックの数、接続ケーブルが異なります。

下表でUPSの型番とバックアップ時間を確認し、指定された組み合わせで接続してください。接続方法の詳細は各項目をご覧ください。

UPSの型番は、UPSの定格銘板 **MODEL** をご覧になり確認してください。

設置状態	UPS		バックアップ時間※ <sup>1</sup> (分)	増設バッテリー			参照ページ		
	型番 (MODEL)	UPSユニット 台数		バッテリーボックス		ケーブルセット 型番※ <sup>3</sup>	ケーブル 配線図	バッテリーパック 搭載位置図	
				型番	台数				バッテリー パック数※ <sup>2,3</sup>
単機タイプ 縦置き	UPSS-50X3	1	15	BCA11N006AU0A	1	2	CAA11NBATTU10	25	27
			25	BCA11N006AU0A	1	4	CAA11NBATTU10	25	27
			35	BCA11N006AU0A	1	4	CAA11NBATTU11	25	27
				BCA11N006AU0C	1	2			
	UPSS-100X3	2	15	BCA11N006AU0B	1	4	CAA11NBATTU14	25	28
			25	BCA11N006AU0A	2	8	CAA11NBATTU15	25	28
			35	BCA11N006AU0A	2	8	CAA11NBATTU16	25	28
				BCA11N006AU0C	2	4			
単機タイプ ラック搭載	UPSS-50X3	1	15	BCA11N006AU0A	1	2	CAA11NBATTU12	13	18
			25	BCA11N006AU0A	1	4	CAA11NBATTU12	13	18
			35	BCA11N006AU0A	1	4	CAA11NBATTU13	13	18
				BCA11N006AU0C	1	2			
	UPSS-100X	2	15	BCA11N006AU0B	1	4	CAA11NBATTU14	13	19
			25	BCA11N006AU0A	2	8	CAA11NBATTU15	13	19
			35	BCA11N006AU0A	2	8	CAA11NBATTU16	13	19
				BCA11N006AU0C	2	4			
集電ユニットがあるタイプ ラック搭載	UPSS-50X3	1	15	BCA11N006AU0A	1	2	CAA11NBATTU01	15	18
			25	BCA11N006AU0A	1	4	CAA11NBATTU01	15	18
			35	BCA11N006AU0A	1	4	CAA11NBATTU02	15	18
				BCA11N006AU0C	1	2			
	UPSS-100X3	2	15	BCA11N006AU0B	1	4	CAA11NBATTU03	15	19
			25	BCA11N006AU0A	2	8	CAA11NBATTU04	15	19
			35	BCA11N006AU0A	2	8	CAA11NBATTU05	15	19
				BCA11N006AU0C	2	4			
	UPSS-150X3	3	15	BCA11N006AU0B	2	6	CAA11NBATTU06	16	20
	UPSS-200X3	4	15	BCA11N006AU0B	2	8	CAA11NBATTU08	16	20

※1 バックアップ時間は、バッテリーボックスとUPSに搭載されているバッテリー容量を合計した場合の時間です。

※2 バッテリーパックの数量は、バッテリーボックスに搭載される数量です。UPSに搭載されているバッテリーパック数は含みません。

UPSユニット1台には2個のバッテリーパックが搭載されます。バッテリーパックの型番、使用数量は、「6. 仕様」の **交換用バッテリーパック** をご覧ください。

※3 バッテリーボックスにはバッテリーパックは含まれていません。バッテリーパック、ケーブルセットは別途手配が必要です。

## 1.2 安全上のご注意

取扱説明書には、サービス員とお客様の安全を守るための重要な内容が記載されています。据え付け、運転、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み、機器の取り扱い、安全の情報そして注意事項について確認してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。



### 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性のあることを示します。



### 注意

誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があることを示します。

なお、 **注意** に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結びつくことがあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

取扱説明書中の図記号の例を次に示します。

図記号	記号の意味
	<p>「してはいけないこと」禁止 を示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  : 分解してはいけないことを示します。                 </div> <div style="width: 45%;">  : 濡れた手で触ってはいけないことを示します。                 </div> </div>
	<p>「必ずしなければならないこと」指示 を示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  : 必ず守らなければいけない指示を示します。                 </div> <div style="width: 45%;">  : 必ず接地しなければいけないことを示します。                 </div> </div>
	<p>注意（警告を含む）を示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  : 一般的に注意することを示します。   : 火災、発煙の可能性のある注意を示します。                 </div> <div style="width: 45%;">  : 感電する可能性がある注意を示します。                 </div> </div>

### 1. 使用に関する注意



## 警告

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UPSおよびバッテリーボックスは電源のバックアップ用以外には使用しないでください。指定以外の用途で使用すると、故障、感電、火災のおそれがあります。</li> <li>● 次のような人の安全に関与する負荷機器※、または公共の機能維持に重大な影響をおよぼす負荷機器に使用する場合は、システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理について特別な配慮が必要となりますので、購入先または当社にご相談ください。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 人命に直接関わる医療機器などへの使用</li> <li>◆ 人身の損傷に至る可能性のある電車、エレベータなどへの使用</li> <li>◆ 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用</li> <li>◆ これらに準ずる装置への使用</li> </ul> </li> <li>● 消防法や建築基準法で定められている消防設備や防災設備用の電源として使用しないでください。</li> <li>● UPSおよびバッテリーボックスから異臭、異音がしたとき、また故障したときは、そのまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災のおそれがあります。すぐに停止し、購入先へ連絡してください。</li> <li>● UPSおよびバッテリーボックスの仕様と異なる電圧、使用環境で使用しないでください。電圧、使用環境が異なると、発煙、発火のおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UPSおよびバッテリーボックスの改造、分解、修理はしないでください。UPSおよびバッテリーボックスの内部は高電圧箇所などがあり、改造、部品交換などの作業をすると感電など事故の原因となります。これらの場合は保証の対象外となります。</li> </ul>

※ 負荷機器・・・コンピュータなどUPSへ接続する装置

## 2. 移動、輸送および移設時の注意


注 意

- 移動、輸送および移設時に転倒、落下させないでください。けがのおそれがあります。
- 取り扱いの際には、腰痛防止に心掛けてください。
- UPSおよびバッテリーボックスを移動する場合は、10度以上傾けないでください。10度以上傾けると転倒し、けがのおそれがあります。やむをえず、10度以上傾けて移動するときは、転倒防止対策をしてください。
- 移動、輸送の際に、UPSおよびバッテリーボックスを不安定な場所に置かないでください。転倒、落下によりけがのおそれがあります。

## 3. 据え付け上の注意


注 意

- 設置工事は専門業者が行ってください。また、取扱説明書の指示どおりに設置工事をしてください。設置工事に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。
- 使用環境は下表のとおりです。指定の環境条件から外れる高温、低温、多湿となる場所に設置、保管しないでください。故障、損傷、劣化などによって、火災などの原因になることがあります。
 

	温度	湿度（結露しないこと）
動作	0 ~ +40 °C	10 ~ 90%
輸送・保管	-15 ~ +50 °C	10 ~ 90%

● 次のような環境で使用、保管しないでください。

  - ◆ 直射日光が当たる場所、周囲温度が+40°Cを超える場所
  - ◆ 高い場所、不安定な場所
  - ◆ 通気性の悪い場所、閉切った場所、通気が妨げられる場所、指定された通気スペースが取れない場所。
  - ◆ 床の強度が不十分な場所
  - ◆ 濡れたり、結露したりする場所、高温度の場所
  - ◆ 屋外
  - ◆ ストープなどの熱源から熱を直接受ける場所
  - ◆ 火花が発生する機器の近傍
  - ◆ 粉塵、腐食性ガス、塩分、可燃性ガスがある場所
  - ◆ 標高2000mを超える場所
  - ◆ 船舶、飛行機、移動用車両の中など、その他特殊な環境
  - ◆ 振動、衝撃の加わる場所
  - ◆ 換気機能のないラック

バッテリーおよび装置の寿命に影響がありますので、+30°Cを超える環境で長期間使用、保管をしないでください。

- 床がぬれた状態や、手や身体がぬれた状態で作業しないでください。感電のおそれがあります。
- UPSおよびバッテリーボックスは、壁などから正面、背面に指定された間隔をとって設置してください。ラックに搭載する場合は、換気ができるラックへ搭載し、UPS、ラックの吸排気口、およびバッテリーボックスの換気口はふさがらないでください。換気口、吸排気口をふさぐと内部温度が上昇し、バッテリーなどの劣化により火災の原因になることがあります。
- 保守時に、正面に1m以上、背面に50cm以上のメンテナンススペースがとれるようにしてください。
- UPSおよびバッテリーボックス周辺の換気をしてください。換気量（目安）は右表のとおりです。換気量が確保されないと、充電時バッテリーから発生するガスにより容器の破裂または爆発の原因になることがあります。

UPSS-	換気量 [m <sup>3</sup> /h]			
	バックアップ時間			
	15分	25分	35分	45分
50X3	11	11	11	11
100X3	22	22	22	—
150X3	32	—	—	—
200X3	43	—	—	—

- 据え付けは、UPSおよびバッテリーボックスの質量に耐える場所に取扱説明書のとおりに行ってください。据え付けに不備があると、UPSおよびバッテリーボックスの転倒、落下などによりけがのおそれがあります。また、取り扱いには、腰痛防止に心掛けてください。
- 梱包のポリ袋やフィルム類、添付品のねじ類は幼児、子供の手の届かない場所に移してください。幼児、子供がフィルム類をかぶったり、ねじなどをのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

## 4. 配線上の注意


注 意

- サービス員以外は配線作業をしないでください。配線工事に不備があると、感電、火災の原因になることがあります。
- アースケーブルは取扱説明書に指定された方法で、確実に取り付けてください。取り付けない場合は感電のおそれがあります。

## 5. 使用上の注意

 禁 止	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UPSおよびバッテリーボックスは、工業環境下で、専門知識のある適格者による、据付・使用および保守が必要です。それ以外の環境、例えば、専門知識のある適格者がいない家庭環境などでは使用しないでください。</li> <li>● UPSおよびバッテリーボックスの上に腰掛ける、乗る、踏み台にする、寄りかかる、ということはしないでください。転倒などで、けがのおそれがあります。</li> <li>● UPSおよびバッテリーボックスの上に物を置かないでください。破損により、けが、火災のおそれがあります。</li> <li>● 発熱物をUPSおよびバッテリーボックスの近くや、接した状態で設置しないでください。爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。</li> <li>● 使用しないコネクタのカバーは取り外さないでください。感電、および事故のおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UPSおよびバッテリーボックスの周辺で喫煙、火気の使用はしないでください。爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UPSおよびバッテリーボックスの上に花瓶など水の入った容器を置かないでください。花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電、装置内部からの火災の原因になることがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 濡れた手でコネクタ部を操作しないでください。感電のおそれがあります。</li> </ul>

 注 意	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UPSおよびバッテリーボックスを操作する前に負荷側の安全を確認し、取扱説明書にしたがって操作をしてください。不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めてUPSおよびバッテリーボックスに触れないでください。落雷の際に感電するおそれがあります。</li> </ul>

## 6. 保守・点検上の注意

 注 意	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サービス員以外は、内部の点検、修理をしないでください。感電、けが、やけど、発煙、発火などのおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UPSおよびバッテリーボックスの修理または故障部品の交換は、購入先へ依頼してください。カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。</li> <li>● バッテリーは定期的に交換してください。交換時期を過ぎたバッテリーは火災の原因になることがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーの清掃には、ガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や中性洗剤などの洗剤を使用しないでください。これらを付着させると電槽にひびや割れを起こし漏液して、漏電や火災の原因になることがあります。</li> <li>● UPSおよびバッテリーボックスのバッテリーコネクタに金属棒や指などを差し込まないでください。感電、やけどのおそれがあります。</li> <li>● 交流入力電源を切っても内部部品に手を触れないでください。バッテリー電圧が印加されている部品があり、感電のおそれがあります。</li> </ul>

## 7. その他の注意事項


**注 意**

- このUPSは輸出貿易管理令別表第一の16の項に掲げる貨物に該当します。これらの該当製品をお客様が輸出する場合、他の貨物に組み込んで輸出する場合、または他の貨物とともに輸出する場合、キャッチオール規制における「インフォーム要件」「客観要件」の検討を含め、監督官庁に対し安全保障貿易に関する手続きを実施いただくことを推奨します。

## 8. バッテリーに関する注意


**注 意**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用期限の過ぎたバッテリーは使用しないでください。発煙、発火の原因になることがあります。また、停電時に使用できず、負荷機器を停止させる可能性があります。</li> <li>● サービス員以外はバッテリーの保守点検を行わないでください。専門知識のない方はバッテリーに触れないようにしてください。バッテリーのプラス端子(+)とマイナス端子(-)を同時に触れると感電のおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーを交換する際は、このバッテリーボックスに使用されているバッテリーと同型のものを使用してください。不適切なタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。</li> <li>● UPSおよびバッテリーボックスのバッテリーは、鉛蓄電池です。鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源ですので、使用済みバッテリーの廃棄に際しては、鉛蓄電池のリサイクルにご協力ください。</li> <li>● バッテリーは感電の危険がある高短絡電流を発生することがあります。バッテリーを保守・点検するときは、つぎの予防をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 時計、腕輪などの金属物を外すこと。</li> <li>◆ 絶縁された工具を使用すること。</li> <li>◆ ゴム製の手袋、および安全靴を着用すること。</li> <li>◆ 工具または金属部品をバッテリーの上に置かないこと。</li> <li>◆ バッテリー端子を接続または取り外す前に、充電用電源を切ること。</li> <li>◆ バッテリーは接地しないこと。設置時および保守時は、バッテリー端子が接地されていないか確認すること。接地されている部分に触れると感電する危険があるため、接地されている場合は取り外すこと。</li> </ul> </li> </ul>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーを開いたり切断したりしないでください。内部には電解液の希硫酸が含まれています。希硫酸は劇毒物で皮膚や目に非常に有害です。バッテリーが漏液した場合は皮膚や衣服に付着させないでください。希硫酸が目に入ると失明、皮膚に付くと火傷のおそれがあります。また、導電性、腐食性があります。つぎの注意事項を守ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 眼は完全に保護し、保護衣類を着用すること。</li> <li>◆ 希硫酸が皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流すこと。</li> <li>◆ 希硫酸が眼に付着した場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。</li> <li>◆ 漏液した希硫酸は酸中和剤（約500gの重炭酸ソーダを約4リットルの水に溶かした溶液）で洗い流してください。その後、溶液を水で洗い流し乾燥させてください。</li> </ul> </li> <li>● バッテリーは水素ガスを発生するため、火災が発生する危険があります。つぎの注意事項を守ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ バッテリー周辺で喫煙しないこと。</li> <li>◆ バッテリー周辺で火またはスパークを発生させないこと。</li> <li>◆ 保守・点検の前に静電気を取り除くこと。</li> </ul> </li> <li>● バッテリーを火の中に捨てないでください。バッテリーが爆発する可能性があります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーの発火時には、消火のために水を使用せず、粉末（ABC）消火器を用いてください。水を使用すると、火災を拡大させる原因になることがあります。消火作業の際には有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行ってください。</li> <li>● バッテリーを漏液、発熱、爆発させる原因になることがあります。つぎの注意事項を守ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ バッテリーに直接はんだ付けしないこと。</li> <li>◆ バッテリーのプラス端子(+)とマイナス端子(-)を逆にして充電しないこと。</li> <li>◆ バッテリーの種類・メーカー名・新旧異なるものを混ぜて使用しないこと。</li> <li>◆ バッテリーの外装チューブをはがしたり、傷をつけないこと。</li> <li>◆ バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけないこと。</li> <li>◆ バッテリーの清掃には、ガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や中性洗剤などの洗剤を使用しないこと。</li> <li>◆ 使用済みバッテリーでも電気エネルギーが残っているので、スパークやショートをさせないこと。</li> </ul> </li> </ul>

## 1.3 使用上のご注意

- (1) サービス員による設置・配線作業が完了した状態でUPSおよびバッテリーボックスを使用してください。
- (2) 電源環境について  
長時間停電が頻繁（週1回以上）に発生する環境で使用すると、バッテリーが十分に充電されなかったり、バッテリーの劣化が早まるためバッテリー寿命が著しく短くなることがあります。
- (3) 長期間UPSおよびバッテリーボックスを使用せず保管する場合は、バッテリーの補充充電が必要です。補充充電を行わないまま放置するとバッテリーの寿命が著しく短くなることがあります。右表をご覧ください。保管環境に応じて「4. 運転前の準備」で指定された時間、UPSを運転して補充充電を実施してください。充電方法の詳細は、UPSの取扱説明書をご覧ください。
- (4) ラックへの搭載にはL型レール（サポートレール）が必要です。詳細はご使用のラックメーカー、UPSおよびバッテリーボックスの購入先または当社へお問い合わせください。
- (5) バッテリーボックスを廃棄するときは産業廃棄物として適切に廃棄処理してください。  
なお、バッテリーボックスに搭載されている鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源ですので、使用済みバッテリーの廃棄に際しては、鉛蓄電池のリサイクルにご協力ください。

保管温度環境	補充電
25℃	6か月/1回
30℃	4か月/1回
40℃	2か月/1回

UPSを正しくご使用いただくためのご注意は、UPSの取扱説明書に記載されています。  
バッテリーボックスをご使用の際は、UPSの取扱説明書も合わせてお読みください。

## 1.4 包装内容の確認

包装を開きましたら、包装内容をご確認ください。

バッテリーボックス、バッテリーパック、ケーブルセットの型番および数量は、バックアップ時間により異なります。

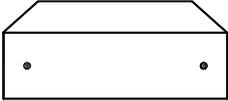
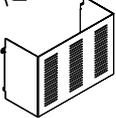
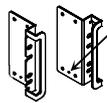
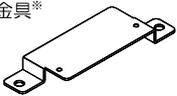
「1.1 型番とバックアップ時間を確認する」をご覧ください。ご使用のUPSの型番とバックアップ時間を確認し、下表で包装内容を確認してください。万が一異常がありましたら、購入先または当社までご連絡ください。

バッテリーボックス、添付品などはすべてそろっていますか？ 外観に損傷、異常はありませんか？

チェック印で確認してください。

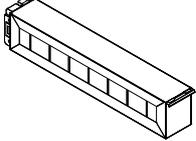
### バッテリーボックス

図はイメージです。実際のものとは異なります。

物品	数量	確認	物品	数量	確認	物品	数量	確認
バッテリーボックス 	1	<input type="checkbox"/>	ケーブルカバー 1個  ケーブルカバー固定用ねじ M3×6 2個 	1式	<input type="checkbox"/>	ラック取付金具  左用 1個 右用 1個 ラック取付金具用ねじ M4×6（黒色） 4個 	1式	<input type="checkbox"/>
転倒防止金具* 2個  転倒防止金具取付用 ねじ M4×8（銀） 4個 	1式	<input type="checkbox"/>	正面用連結金具* 2個  連結金具取付用ねじ M4×8（銀） 2個 	1式	<input type="checkbox"/>	背面用連結金具* 2個  連結金具取付用ねじ M4×8（銀） 2個 	1式	<input type="checkbox"/>

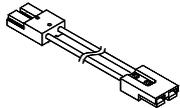
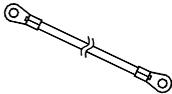
\* ラック搭載時は使用しません。

バッテリーパック

物品	数量	確認	物品	数量	確認	物品	数量	確認
バッテリーパック 	1式	<input type="checkbox"/>	設置日/バッテリー交換日ラベル 	1式	<input type="checkbox"/>	取扱説明書	1式	<input type="checkbox"/>

必要な数量は、「1.1 型番とバックアップ時間を確認する」で確認してください。

ケーブルセット

物品	数量	確認	物品	数量	確認	物品	数量	確認
バッテリーケーブル 	下表参照	<input type="checkbox"/>	アースケーブル 	下表参照	<input type="checkbox"/>	バッテリーボックス取扱説明書 (本書)	1	<input type="checkbox"/>
						初期設定説明書	1	<input type="checkbox"/>

ケーブルセットの包装箱に記載されているケーブルセットの型番を確認し、下表でそれぞれのケーブルの長さとお本数を確認してください。

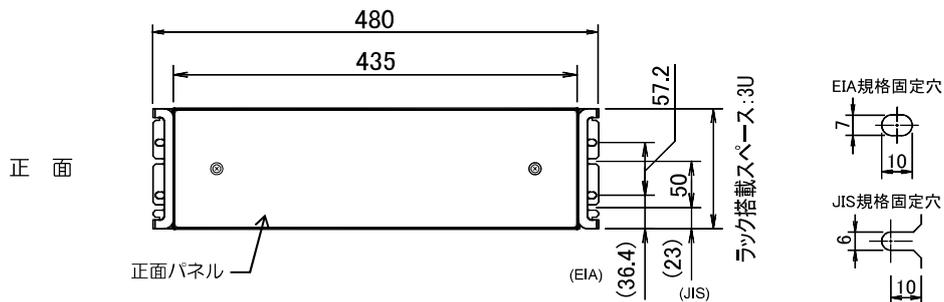
ケーブルセット内容一覧表

ケーブルセット型番	バッテリーケーブル本数					アースケーブル本数	
	ケーブル長さ (mm)					ケーブル長さ (mm)	
	210	340	480	610	770	100	210
CAA11NBATTU01	-	1	-	-	-	-	1
CAA11NBATTU02	1	-	1	-	-	1	1
CAA11NBATTU03	-	-	2	-	-	-	1
CAA11NBATTU04	-	-	2	-	-	1	1
CAA11NBATTU05	2	-	-	-	2	3	1
CAA11NBATTU06	-	-	-	3	-	1	1
CAA11NBATTU08	-	-	-	2	2	1	1
CAA11NBATTU10	-	1	-	-	-	1	-
CAA11NBATTU11	1	1	-	-	-	2	-
CAA11NBATTU12	-	-	1	-	-	-	1
CAA11NBATTU13	1	-	-	1	-	1	1
CAA11NBATTU14	-	-	1	1	-	-	1
CAA11NBATTU15	-	-	-	2	-	1	1
CAA11NBATTU16	2	-	-	1	1	3	1

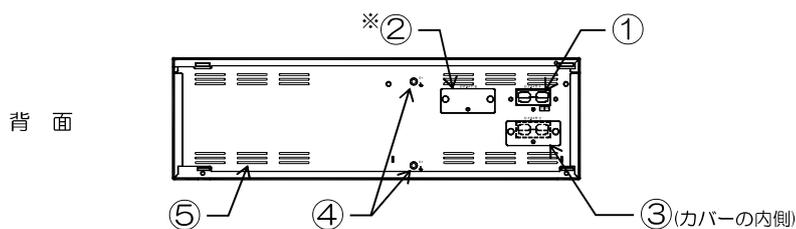
UPSおよびバッテリーボックスの譲渡または売却時のご注意

UPSおよびバッテリーボックスを第三者に譲渡または売却する場合は、添付されているすべてのものを譲渡または売却してください。

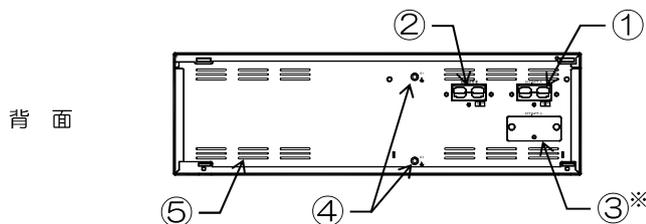
## 2. 外形寸法および各部の名称



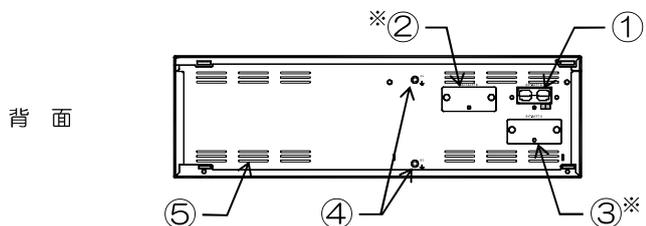
**バッテリーボックス A**  
BCA11N006AU0A



**バッテリーボックス B**  
BCA11N006AU0B



**バッテリーボックス C**  
BCA11N006AU0C



単位: mm

取扱説明書の説明図はイメージです。実際のものとは異なる場合があります。

番号	名称	本体の表示	機能
①	増設バッテリーコネクタ	EXT.BATT A	UPSとバッテリーボックス接続用
②	増設バッテリーコネクタ	EXT.BATT B	UPSとバッテリーボックス接続用
③	増設バッテリーコネクタ	EXT.BATT C	バッテリーボックス間の接続用
④	アース接続端子	G1 ⚡, G2 ⚡	アースケーブル接続用
⑤	換気口	—	バッテリーボックス内の換気

※ カバーの内側にコネクタはありません。カバーを外さないでください。

バッテリーボックスの質量と奥行きは下表のとおりです。

型番	質量 [約 kg]	奥行き [mm]
バッテリーボックス	BCA11N006AU0A	780 (ケーブルカバー80mmを含む)
	BCA11N006AU0B	
	BCA11N006AU0C	
バッテリーボックスに バッテリーパックを 搭載したときの合計質量	バッテリーパック 2個 搭載	49
	バッテリーパック 4個 搭載	84

# 3. バッテリーボックスの設置・配線

必ずサービス員が実施してください。



注意







- サービス員以外は設置・配線作業をしないでください。取扱説明書の指示のとおり設置・配線作業をしてください。設置・配線作業に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。
- バッテリーボックスの設置・配線は、UPSが停止し、入力電源が遮断されている状態で行ってください。感電、けが、やけどなどのおそれがあります。
- バッテリーボックスの質量に耐える場所、転倒、落下のおそれのない平らな場所、また振動、衝撃の少ない場所に、取扱説明書のとおり設置してください。バッテリーボックスの転倒などにより、けがのおそれがあります。
- 移動、据え付け時にバッテリーボックスを落下、転倒させないでください。けがのおそれがあります。
- 安全靴を着用して設置作業をしてください。また、腰痛予防に心がけてください。

## 3.1 設置環境を確認する

設置環境： 温度 0~40℃、相対湿度10~90%（結露しないこと）

つぎのような場所には設置しないでください。

- 接地できない場所
- 直射日光が当たる場所、周囲温度が40℃を超える場所 ※
- 通気性の悪い場所、閉切った場所、通気が妨げられる場所、指定された通気スペースが取れない場所
- 濡れたり、結露したりする場所、高湿度の場所
- ストーブなどの熱源から熱を直接受ける場所
- 粉塵、腐食性ガス、塩分、可燃性ガスがある場所
- 船舶、飛行機、移動用車両の中など、その他特殊な環境
- 高い場所、不安定な場所
- 床の強度が不十分な場所
- 屋外
- 火花が発生する機器の近傍
- 標高2000mを超える場所
- 振動、衝撃の加わる場所
- 換気機能のないラック

※ご注意

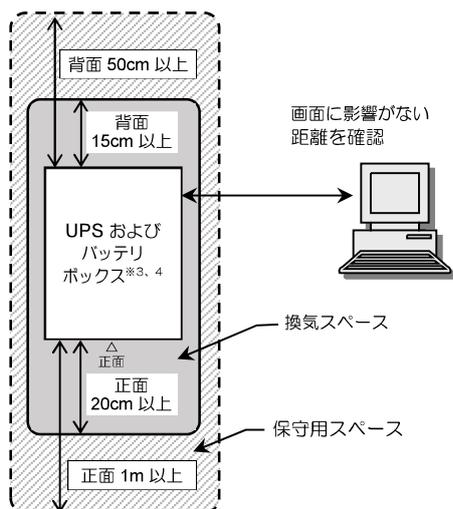
30℃以上の環境で使用するとバッテリーの寿命が短くなります。20~25℃で使用、管理することをおすすめします。

## 3.2 設置スペースを確認する



UPSおよびバッテリーボックスの周辺に指定されたスペースをとり、排気を換気できるようにしてください。必ず換気機能のあるラックに搭載してください。UPSおよびバッテリーボックス内部の温度が上昇し、発煙、発火、火災が発生する危険があります。

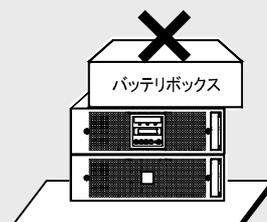
UPS、バッテリーボックスは、下記のスペースをとって設置してください。



必要なスペース	正面	背面	備考
換気用	20cm 以上	※1 15cm 以上	側面も含め、排気経路を考慮して、周囲に換気用スペースをとってください。※2
保守用	1m 以上	50cm 以上	側面も含め、保守時に作業用スペースがとれるようにしてください。
その他	わずかですが漏れ磁束があります。CRTディスプレイに画面揺れなどの影響を与える場合がありますので、画面を確認して設置してください。そのほか、磁束による影響を受けやすいものは間を空けてください。		

※UPSおよびバッテリーボックス設置時のご注意

- ※1. UPSおよびバッテリーボックス本体背面からの距離を示します。
- ※2. 周囲温度が高いと、装置およびバッテリーの寿命に影響があります。排気経路を考慮して周囲スペースをとるなど、周囲温度が高くないように注意してください。
- ※3. 転倒、落下のおそれがありますので、バッテリーボックスとUPSを積み重ねた状態で使用しないでください。
- ※4. UPSの取扱説明書に記載されているUPSの設置スペースの指定が上記と異なる場合は、UPSの取扱説明書で指定されているスペースをとって設置してください。



### 3.3 ラックに搭載して使用する場合

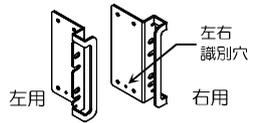
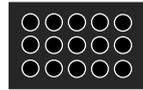
#### 3.3.1 UPSとバッテリーボックスをラックに搭載する



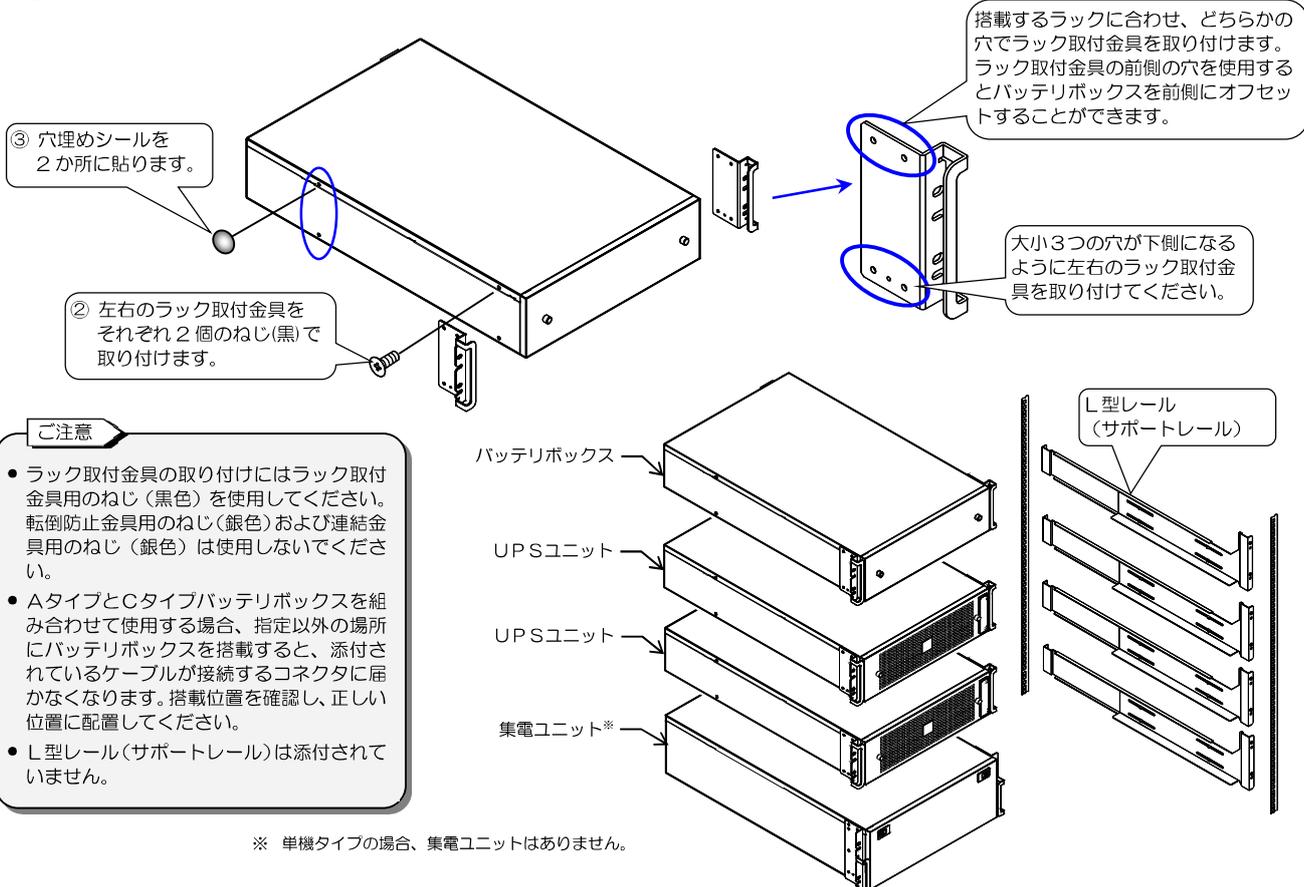
- UPSおよびバッテリーボックスをラックに確実に搭載してください。地震などの衝撃、振動により、UPS、バッテリーボックスの移動、落下などで、けがのおそれがあります。
- バッテリーボックスの質量は、「2. 外形寸法および各部の名称」の表のとおりです。安全靴を着用して作業してください。バッテリーボックスの落下によりけがのおそれがあります。また腰痛予防に心がけてください。
- 安全のため、ラック搭載時はユニットごとにL型レール（サポートレール）を使用してください。L型レールについては、ご使用のラックメーカーまたは購入先へお問い合わせください。
- 金具の取り付け、バッテリーボックス設置の際に、手などをはさまないようにご注意ください。けがのおそれがあります。

バッテリーボックスをラックに搭載した後、バッテリーボックスとUPS間を配線し、バッテリーパックを組み込みます。取扱説明書の手順どおりに実施してください。UPSの設置方法は、UPSの取扱説明書をご覧ください。EIA規格またはJIS規格の19インチラックに搭載することができます。換気機能のあるラックに搭載してください。「3.2 設置スペースを確認する」をご覧ください。正面および背面に吸排気スペースを確保してください。UPSは重量物ですので、ラックの最下部へ収納することをおすすめします。ラック搭載にはユニットごとにL型レール（サポートレール）を使用してください。L型レールについては、ご使用のラックメーカーまたは購入先へお問い合わせください。UPSが故障するおそれがありますので、UPSの上に物を置かないでください。

① 下記の添付品を用意します。

物品	ラック取付金具 	ラック取付金具用ねじ（黒） M4×6 	穴埋めシールのシート 
数量	左右各1個/バッテリーユニット1台	4個/バッテリーユニット1台	1枚（UPSの添付品）

- ② 左右のラック取付金具をねじでバッテリーボックスに取り付けます。左右を間違えないように注意してください。
- ③ 穴埋めシールを左側面2か所の穴に貼ります。
- ④ 下から、集電ユニット、UPSユニット、バッテリーボックスの順にラックに搭載します。AタイプとCタイプバッテリーボックスを組み合わせる場合は、「3.3.2 UPSとバッテリーボックスを接続する」の「ケーブル配線図」でバッテリーボックスを搭載する位置を確認してください。すべてのユニットにL型レール（サポートレール）を使用してください。
- ⑤ ラックに固定します。ラックへの固定用ねじは、添付されていません。
- ⑥ すべてのユニットが確実にラックに固定されていることを確認します。



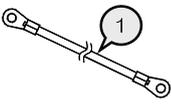
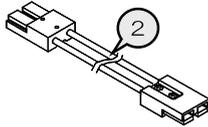
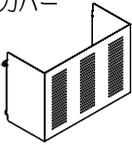
### 3.3.2 UPSとバッテリーボックスを接続する

 <b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス員以外は配線作業をしないでください。取扱説明書の指示のとおり配線作業をしてください。配線作業に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。</li> <li>配線作業は、絶縁された手袋をするなどの対処をして行ってください。感電のおそれがあります。</li> <li>バッテリーボックスの配線は、UPSが停止し、入力電源が遮断されている状態で行ってください。感電、けが、やけどなどのおそれがあります。</li> <li>バッテリーボックスのコネクタの差し込み、ケーブルの接続にゆりみがないようにしてください。感電、けが、火災のおそれがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>UPSおよびバッテリーボックスは必ず接地してください。感電のおそれがあります。接地ができない場所では使用しないでください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルカバーを取り付けるときに手などをはさまないように注意してください。けがのおそれがあります。</li> </ul>

#### 3.3.2.1 単機タイプUPSの場合

UPSユニットとバッテリーボックスをラックに搭載した後、UPSユニットとバッテリーボックス間を配線します。UPSの型名、バックアップ時間により配線方法が異なります。ご使用のUPSを確認し、取扱説明書の手順どおりに実施してください。UPSの配線方法につきましては、UPSの取扱説明書をご覧ください。

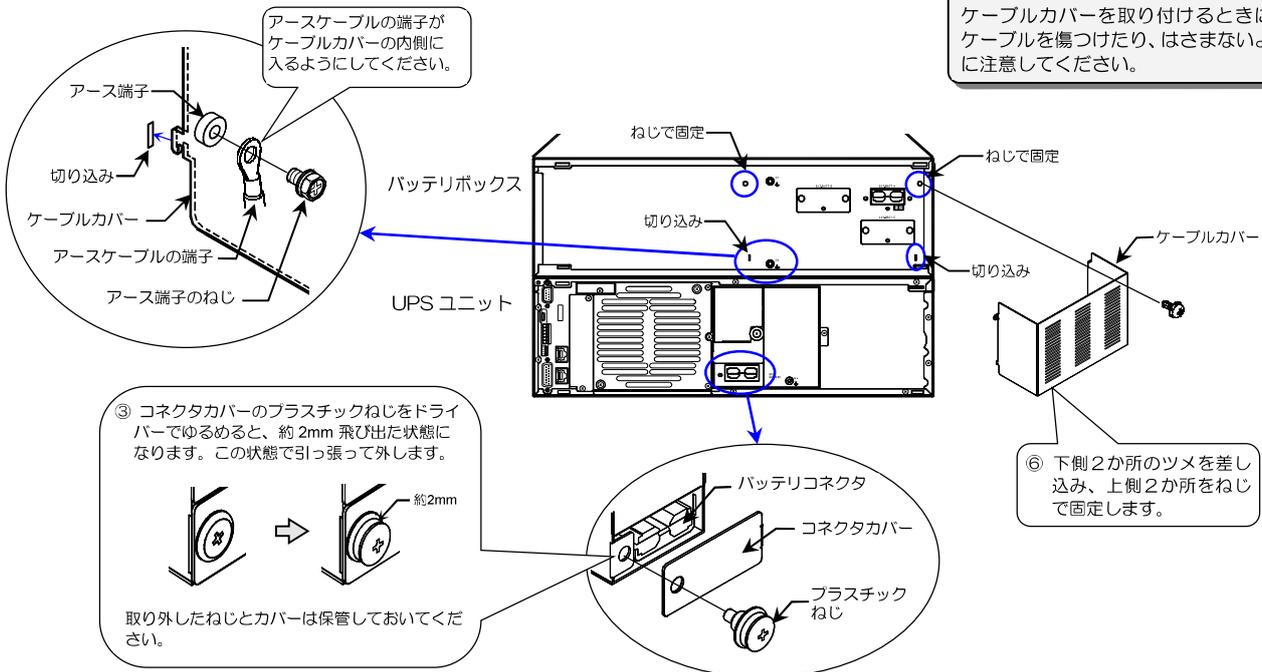
① 下記の添付品を用意します。

物品	アースケーブル 	バッテリーケーブル 	ケーブルカバー 1個  ケーブルカバー 固定用ねじ M3×6 2個 
数量	ケーブルセット一式 数量は「1.4」項のケーブルセット内容一覧表で確認してください。		1式/バッテリーユニット1台

- ② 次ページの「ケーブル配線図」の中で、①で示す位置のアース端子間を、アースケーブルで接続します。アース端子のねじをいったん取り外し、アースケーブルを固定してください。
- ③ UPSユニット背面の増設バッテリーコネクタ「EXT. BATTERY」のカバーを外します。外し方は下図をご覧ください。
- ④ 次ページの「ケーブル配線図」の中で、②で示す位置のバッテリーコネクタ間を、バッテリーケーブルで接続します。それぞれのコネクタ間に適した長さのケーブルを使用してください。コネクタを差し込む方向が違っていると挿入できません。差し込む方向を確認してください。
- ⑤ すべてのケーブルが確実に接続されていることを確認します。
- ⑥ すべてのバッテリーボックスに添付品のケーブルカバーを取り付けます。

**配線時のご注意**  
 接続するコネクタの位置を確認し、正しく配線してください。指定以外のコネクタに接続すると停電時に仕様時間どおりのバックアップができません。

**ご注意**  
 ケーブルカバーを取り付けるときに、ケーブルを傷つけたり、はさまないように注意してください。



### 3. バッテリーボックスの設置・配線

#### ケーブル配線図

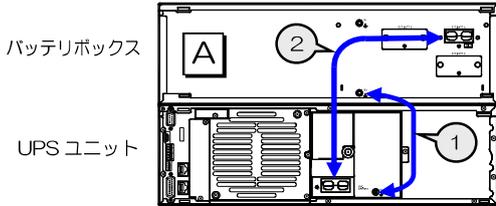
#### ご注意

接続するコネクタの位置を確認し、正しく配線してください。指定以外のコネクタに接続すると停電時に仕様時間どおりのバックアップができません。

図は、UPSユニットとバッテリーボックスを設置したときの背面図を示します。

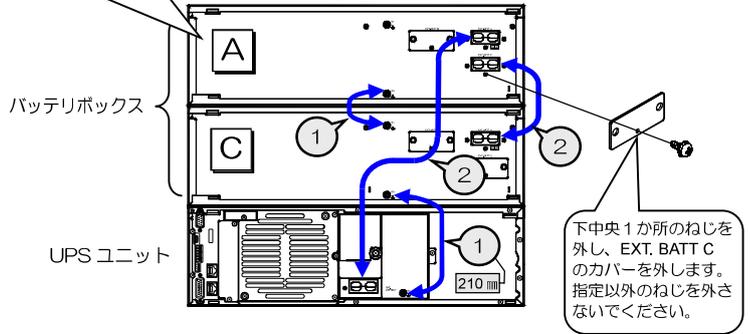
#### UPSS-50X3

15分、25分



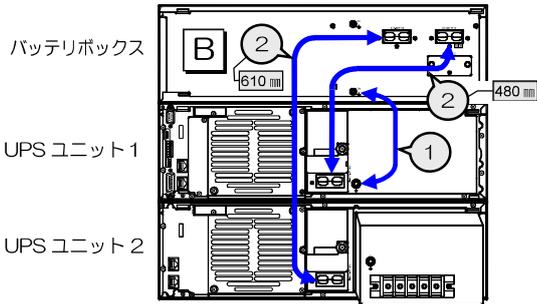
35分、45分

定格銘板でバッテリーボックスのタイプを確認してください。  
BCA11N006AU0A : A タイプ  
BCA11N006AU0C : C タイプ



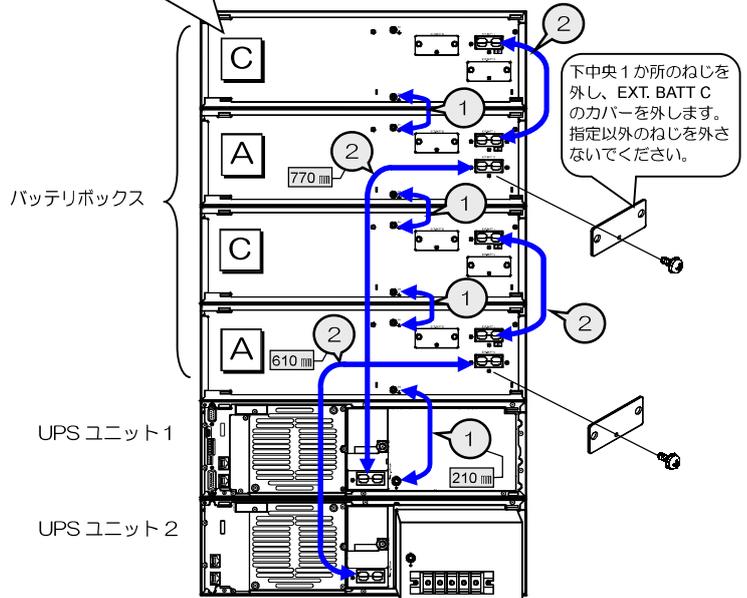
#### UPSS-100X3

15分

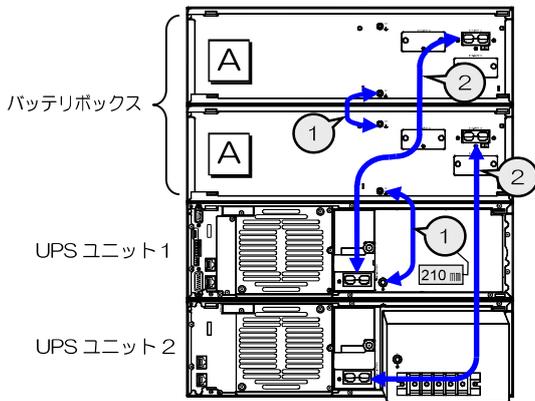


35分

定格銘板でバッテリーボックスのタイプを確認してください。  
BCA11N006AU0A : A タイプ  
BCA11N006AU0C : C タイプ



25分

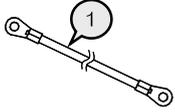
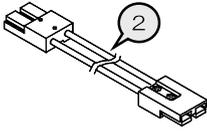
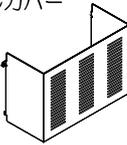


「3.3.3 バッテリーパックを搭載する」へ進みます。

### 3.3.2.2 集電ユニットがあるUPSの場合

UPSユニット、集電ユニット、バッテリーボックスをラックに搭載した後、UPSユニットとバッテリーボックス間を配線します。UPSの型名、バックアップ時間により配線方法が異なります。ご使用のUPSを確認し、取扱説明書の手順どおりに実施してください。UPSの配線およびケーブルカバーの取り扱い方法につきましては、UPSの取扱説明書をご覧ください。

① 下記の添付品を用意します。

物品	アースケーブル 	バッテリーケーブル 	ケーブルカバー 1個 	ケーブルカバー 固定用ねじ M3×6 2個 
数量	ケーブルセット一式 数量は「1.4」項のケーブルセット内容一覧表で確認してください。		1式/バッテリーユニット1台	

② 15～16 ページの「ケーブル配線図」の中で、①で示す位置のアース端子間を、アースケーブルで接続します。アース端子のねじをいったん取り外し、アースケーブルを固定してください。

③ UPSユニット背面の増設バッテリーコネクタ「EXT. BATTERY」のカバーを外します。

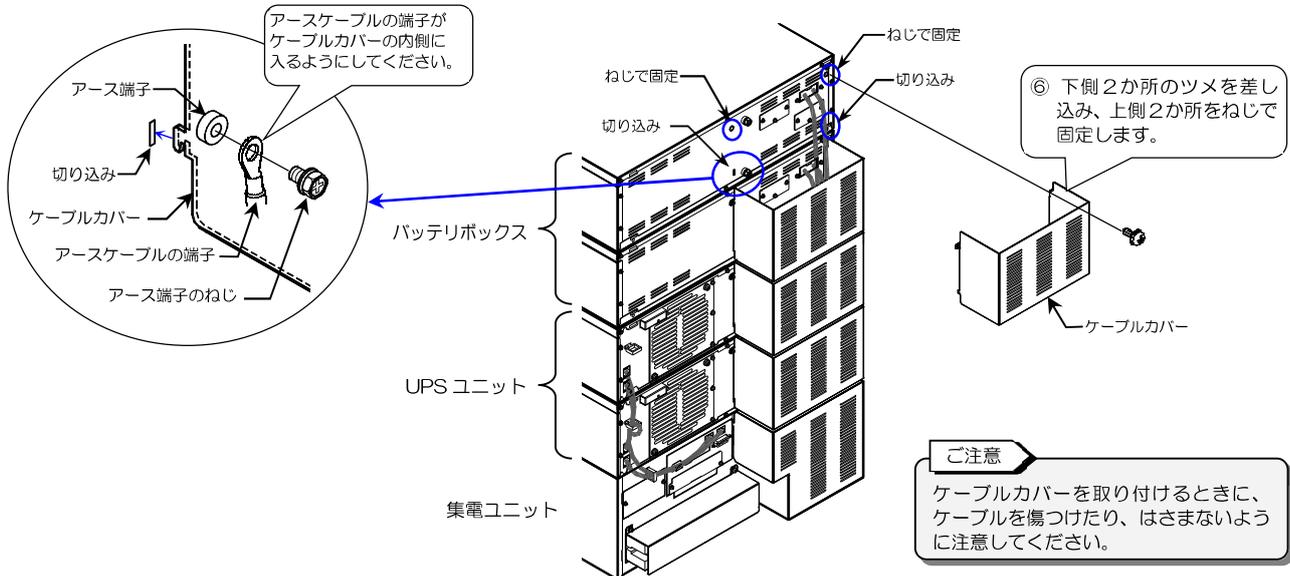
④ 15～16 ページの「ケーブル配線図」の中で、②で示す位置のバッテリーコネクタ間を、バッテリーケーブルで接続します。それぞれのコネクタ間に適した長さのケーブルを使用してください。コネクタを差し込む方向が違くと挿入できません。差し込む方向を確認してください。

**配線時のご注意**

接続するコネクタの位置を確認し、正しく配線してください。指定以外のコネクタに接続すると停電時に仕様時間どおりのバックアップができません。

⑤ すべてのケーブルが確実に接続されていることを確認します。

⑥ すべてのバッテリーボックスに添付品のケーブルカバーを取り付けます。UPSユニット、集電ユニット背面のケーブルカバーの取り付け方法はUPSS-X3 取扱説明書をご覧ください。



**ご注意**

ケーブルカバーを取り付けるときに、ケーブルを傷つけたり、はさまないように注意してください。

### 3. バッテリーボックスの設置・配線

#### ケーブル配線図

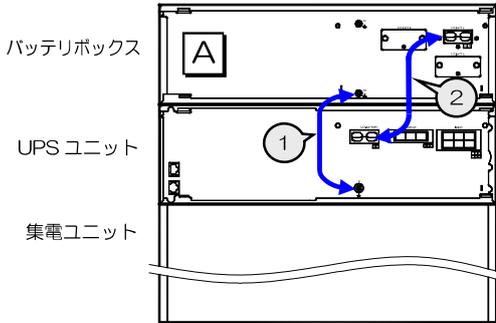
図は、UPSとバッテリーボックスを設置したときの背面図を示します。

#### ご注意

接続するコネクタの位置を確認し、正しく配線してください。指定以外のコネクタに接続すると停電時に仕様時間通りのバックアップができません。

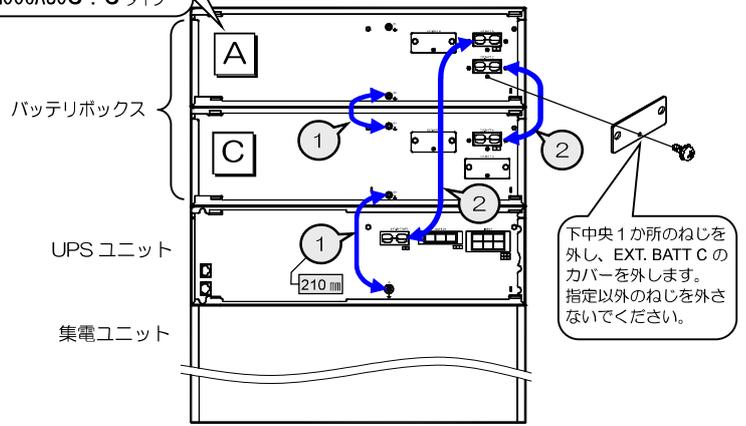
#### UPSS-50X3

15分、25分



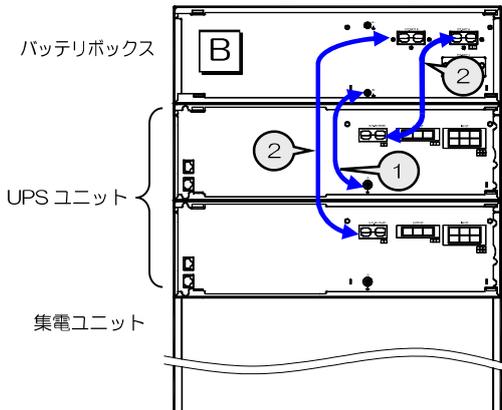
定格銘板でバッテリーボックスのタイプを確認してください。  
BCA11N006AU0A : A タイプ  
BCA11N006AU0C : C タイプ

35分、45分



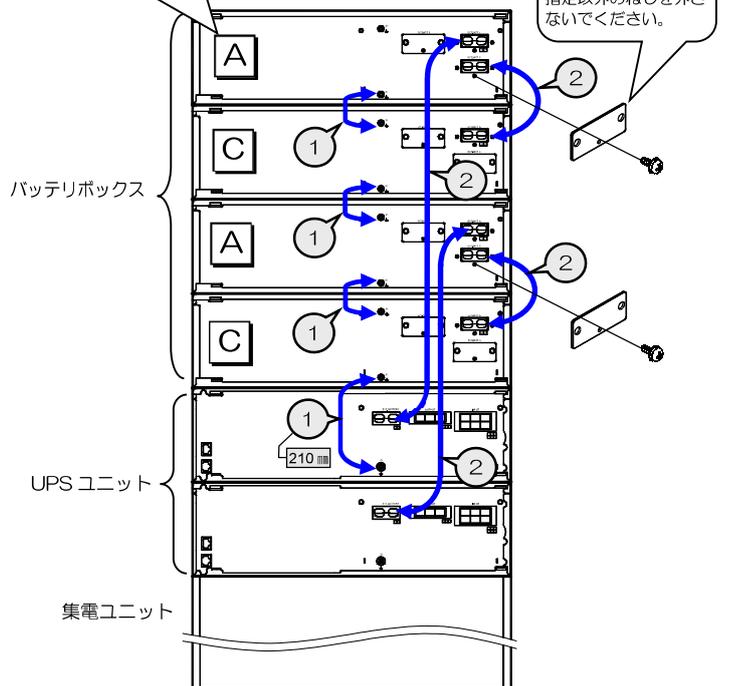
#### UPSS-100X3

15分

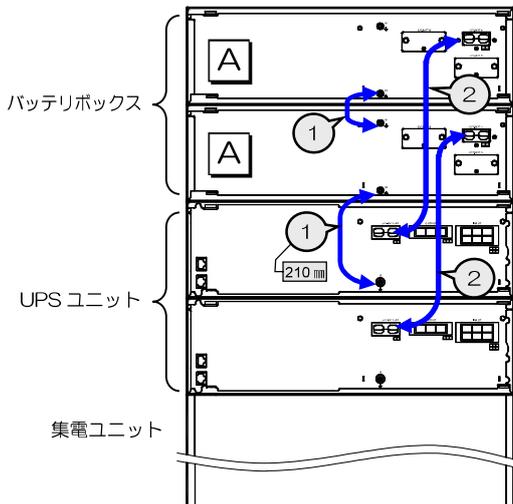


定格銘板でバッテリーボックスのタイプを確認してください。  
BCA11N006AU0A : A タイプ  
BCA11N006AU0C : C タイプ

35分



25分

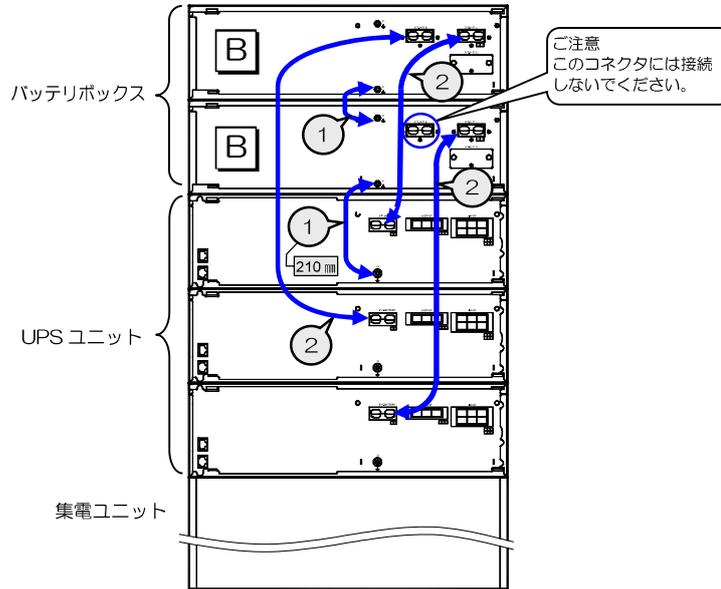


ご注意

接続するコネクタの位置を確認し、正しく配線してください。指定以外のコネクタに接続すると停電時に仕様時間どおりのバックアップができません。

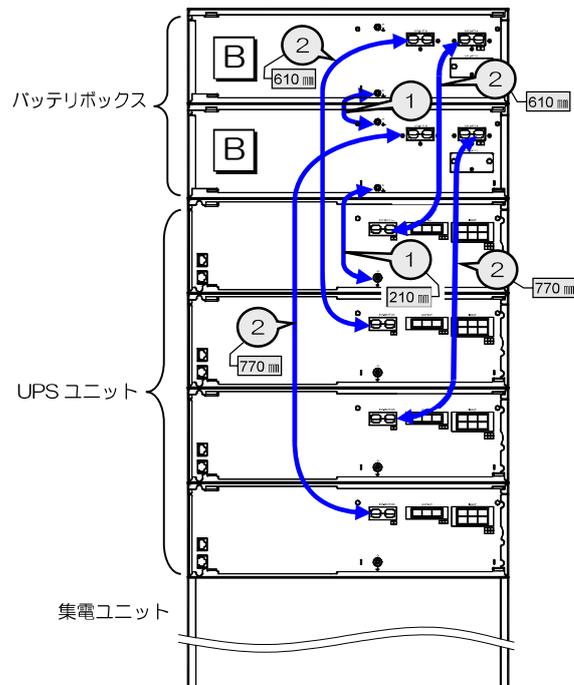
UPSS-150X3

15分



UPSS-200X3

15分

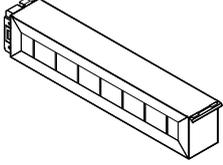


「3.3.3 バッテリーパックを搭載する」へ進みます。

### 3.3.3 バッテリーパックを搭載する

 <b>注意</b>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱説明書の指示のとおりバッテリーパックを搭載してください。作業に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。</li> <li>絶縁された手袋を着用して作業してください。感電のおそれがあります。</li> <li>バッテリーパックを落とさないように注意してください。正面パネルを取り付けるときに手などをはさまないように注意してください。けがのおそれがあります。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

① バッテリーパックを用意します。

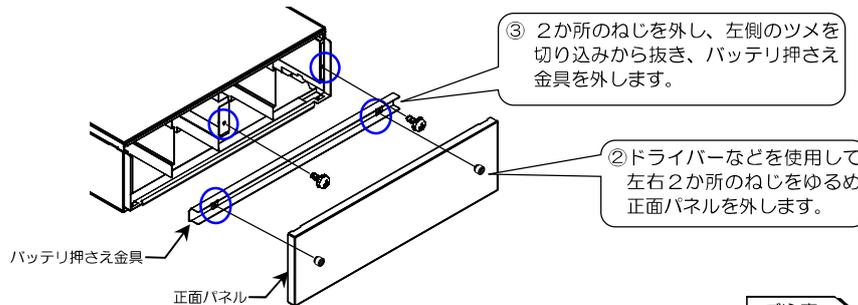
物品	バッテリーパック 
数量	必要数は「1.1」項を参照

**バッテリーパックの取り扱いについてのご注意**

- 使用するバッテリーパックは専用品です。指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。バッテリーの寿命低下、漏液、発熱の原因になることがあります。
- バッテリーパックの包装箱に衝撃などが加わった痕や、変形、電解液のにじみなどがなければ、バッテリーパックに亀裂、変形などの損傷、電解液のにじみなどがなければ、底面や角を含め全数目視による点検をしてください。
- 誤って落下させたバッテリーパック、強い衝撃を与えたバッテリーパックは使用しないでください。
- バッテリーパックに不良などがあった場合は使用を中止し、購入先または当社にご連絡ください。

② バッテリーボックスの正面パネルの左右2か所のねじをゆるめ、正面パネルを取り外します。

③ バッテリー押さえ金具を固定している2か所のねじを外し、バッテリー押さえ金具を取り外します。

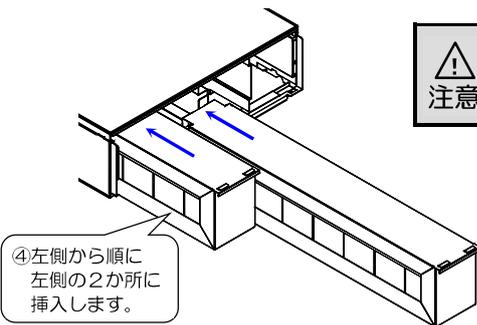


④ バッテリーパックをバッテリーボックスに搭載します。  
 バッテリーパックを搭載する順番、搭載する位置を 18~20 ページの「バッテリーパック搭載位置図」で確認してください。

**ご注意**

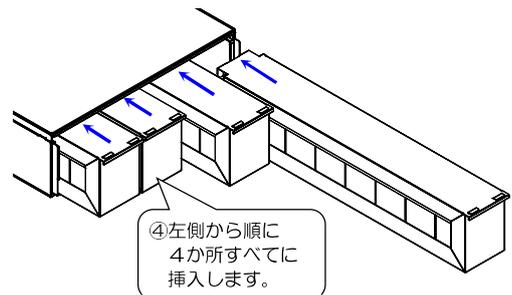
バッテリーボックスへ2個のバッテリーパックを搭載する場合は、必ず左側の2か所へ搭載してください。指定以外の場所に搭載すると、バッテリーが機能しません。

バッテリーボックスに2個のバッテリーパックを搭載する場合

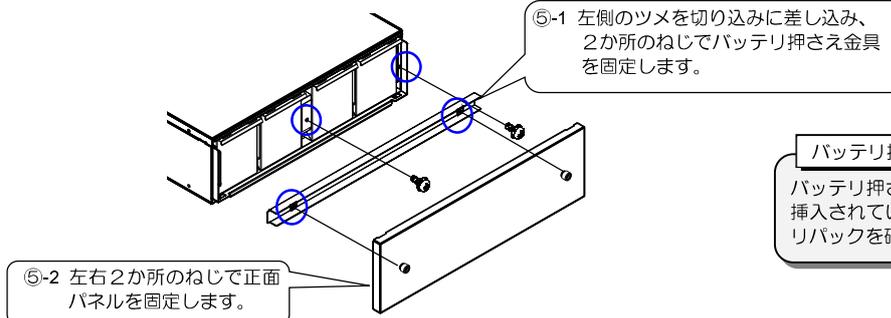


 <b>注意</b>	1個のバッテリーパックの質量は17.5kgです。落とさないように注意してください。
--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------

バッテリーボックスに4個のバッテリーパックを搭載する場合



⑤ バッテリー押さえ金具と正面パネルを取り付けます。



**バッテリー押さえ金具取り付け時のご注意**

バッテリー押さえ金具は、バッテリーパックが正しく挿入されていないと取り付けられません。バッテリーパックを確実に奥まで押し込んでください。

バッテリーパック搭載位置図

バッテリーパックを 1 の位置から順番に搭載してください。数字が記入されていない場所には搭載しないでください。記載されているバッテリーパック数にはUPSのバッテリーパック数は含まれません。UPSのバッテリーパックの搭載方法はUPSS-X3の取扱説明書をご覧ください。

図は、UPSとバッテリーボックスを設置したときの正面図を示します。

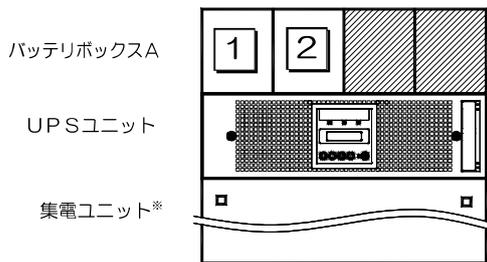
UPSS-50X3

ご注意

バッテリーボックスへ2個のバッテリーパックを搭載する場合は、必ず左側の2か所へ搭載してください。指定以外の場所に搭載すると、バッテリーが機能しないことがあります。

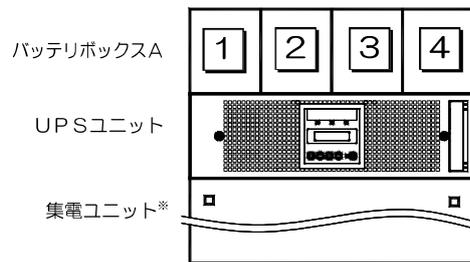
15分

バッテリーパック数：2個



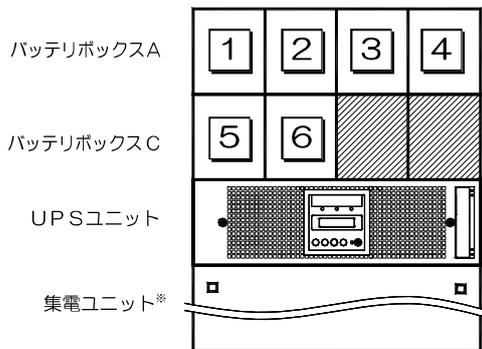
25分

バッテリーパック数：4個



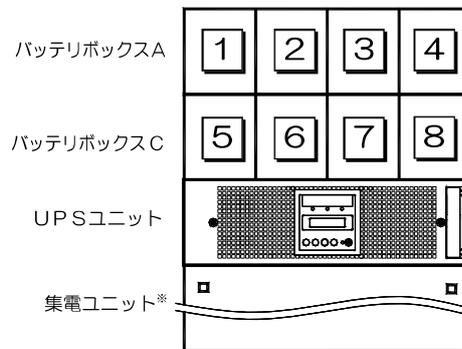
35分

バッテリーパック数：6個



45分

バッテリーパック数：8個



※ 単機タイプの場合、集電ユニットはありません。

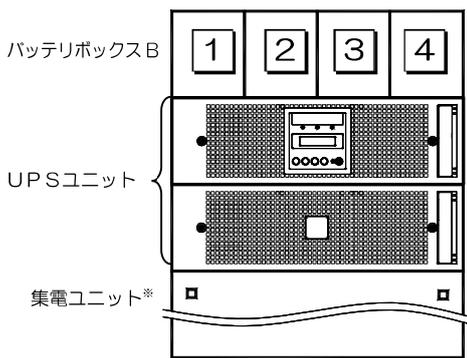
バッテリーパック搭載位置図

バッテリーパックを **1** の位置から順番に搭載してください。数字が記入されていない場所には搭載しないでください。記載されているバッテリーパック数にはUPSのバッテリーパック数は含まれません。UPSへのバッテリーパックの搭載方法はUPSS-X3の取扱説明書をご覧ください。

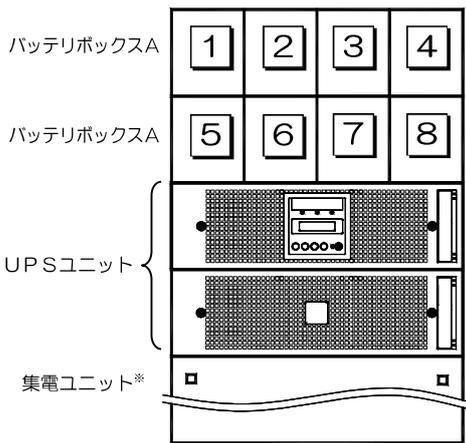
図は、UPSとバッテリーボックスを設置したときの正面図を示します。

UPSS-100X3

**15分**  
バッテリーパック数：4個

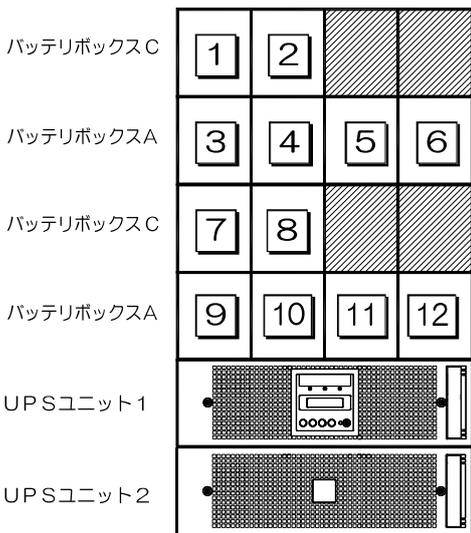


**25分**  
バッテリーパック数：8個

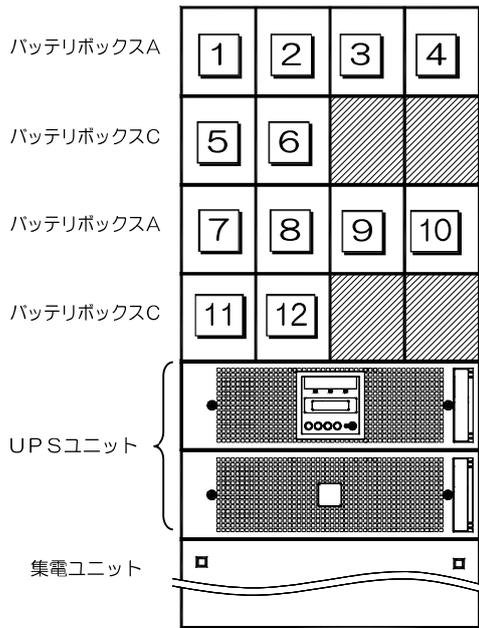


※ 単機タイプの場合、集電ユニットはありません。

**単機タイプUPS 35分**  
バッテリーパック数：12個



**集電ユニットがあるUPS 35分**  
バッテリーパック数：12個

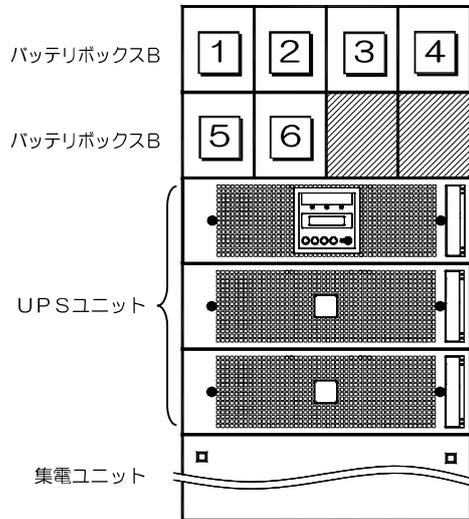


**ご注意**

- 単機タイプUPSと集電ユニットがあるUPSでは、バッテリーボックスA、Cの配置が異なります。搭載位置を間違えないように注意してください。
- バッテリーボックスへ2個のバッテリーパックを搭載する場合は、必ず左側の2か所へ搭載してください。指定以外の場所に搭載すると、バッテリーが機能しないことがあります。

**UPSS-150X3**

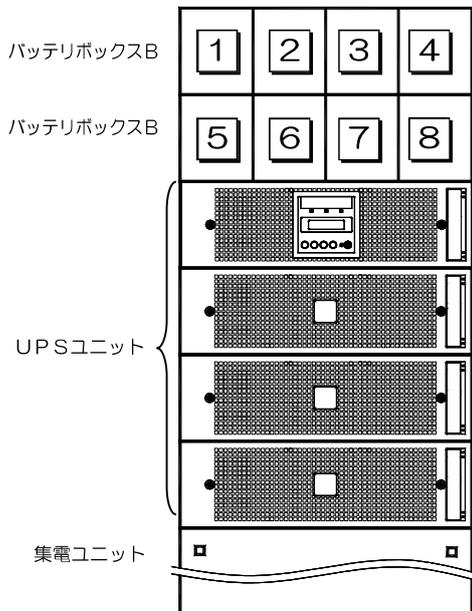
**15分**  
バッテリーパック数：6個



**ご注意**  
バッテリーボックスへ2個のバッテリーパックを搭載する場合は、必ず左側の2か所へ搭載してください。指定以外の場所に搭載すると、バッテリーが機能しません。

**UPSS-200X3**

**15分**  
バッテリーパック数：8個



「3.5 設置ラベルを貼る」へ進みます。

### 3.4 縦置きにして使用する場合（単機タイプUPSの場合のみ）



- 転倒防止金具とバッテリーボックスを確実に固定してください。また、連結金具でUPSユニットとバッテリーボックスを確実に連結してください。地震などの衝撃、振動により、UPSおよびバッテリーボックスの移動、転倒などで、けがのおそれがあります。
- バッテリーボックスの質量は、「2. 外形寸法および各部の名称」の表のとおりです。安全靴を着用して作業してください。バッテリーボックスの落下によりけがのおそれがあります。また腰痛予防に心がけてください。
- 転倒防止金具の取り付け、バッテリーボックス設置の際に、手などをはさまないようにご注意ください。けがのおそれがあります。
- 机など台の上に縦置きに設置しないでください。地震などの衝撃、振動により、UPSの移動、転倒などで、けがのおそれがあります。

UPSユニットとバッテリーボックスを縦置きに設置した後、UPSユニットとバッテリーボックス間を配線し、バッテリーパックを組み込みます。取扱説明書の手順どおりに実施してください。UPSの設置方法につきましては、UPSの取扱説明書をご覧ください。

#### 3.4.1 UPSとバッテリーボックスを縦に設置する

UPSとバッテリーボックスを縦置きにするときは、添付品の転倒防止金具を取り付け、UPSユニットとバッテリーボックス間を連結金具で固定します。UPSが故障するおそれがありますので、UPSの上に物を置かないでください。

① 下記の添付品を用意します。

物品	転倒防止金具	転倒防止金具取付用 ねじ M4×8（銀色）	正面用 連結金具*	背面用 連結金具*	連結金具用ねじ M4×8（銀色）	穴埋めシールの シート
数量	2 個	4 個	2 個	2 個	4 個	1 枚 (UPSの添付品)
バッテリーボックス1台あたりの数量						

※ 連結金具には、正面用と背面用があります。取り付け前に形状を確認してください。

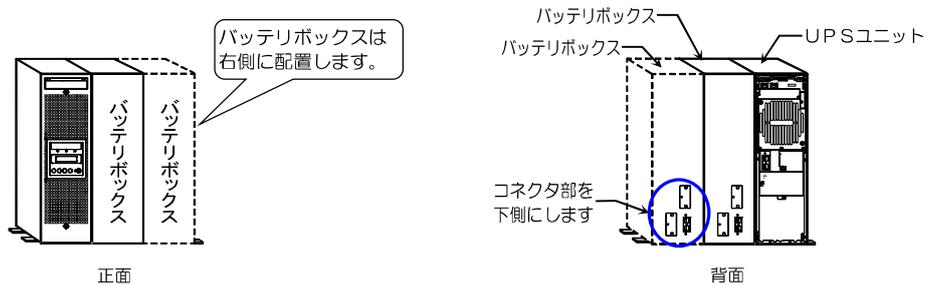
② 設置場所の床に床固定用の穴をあけます。

下図で、UPSユニットとバッテリーボックスの配置を確認してください。床固定寸法は、次ページをご覧ください。

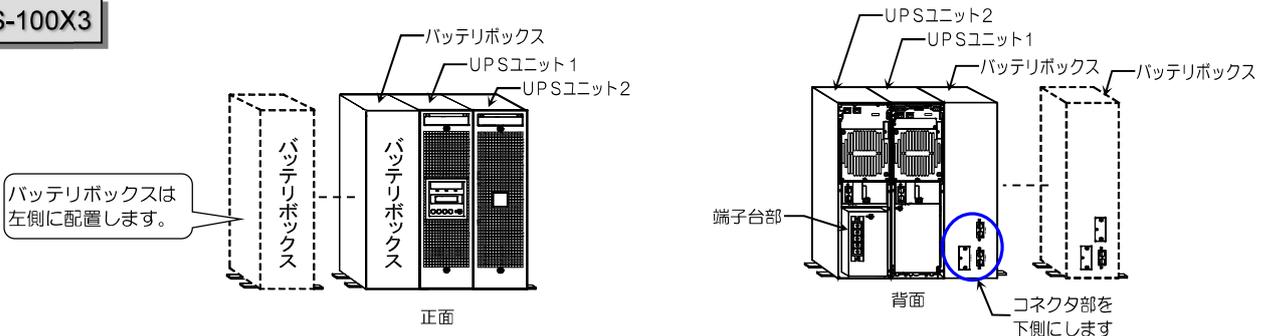
**ご注意**

UPSユニットとバッテリーボックスの配置を確認し、指定の位置に配置できるように床固定用の穴をあけてください。異なる配置で設置するとケーブルが届かなくなる場合があります。

**UPSS-50X3**



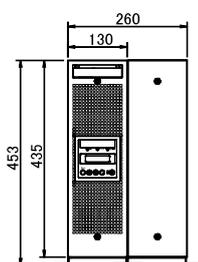
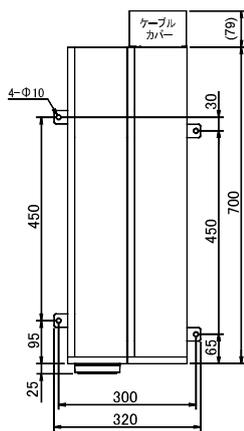
**UPS-100X3**



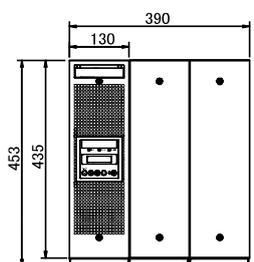
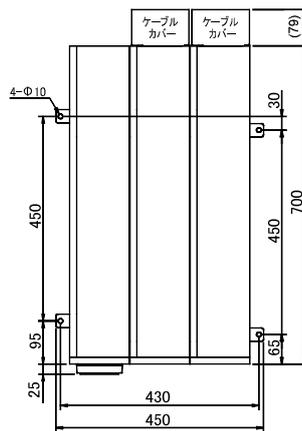
床固定寸法図 (上面視)

単位 : mm

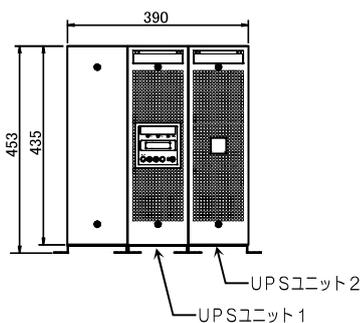
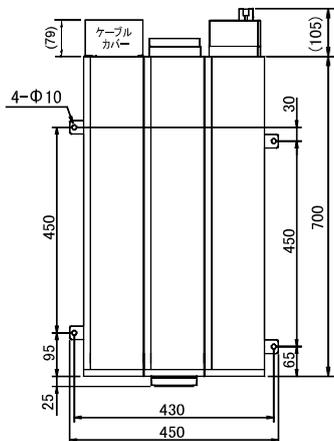
UPSS-50X3 15分、25分



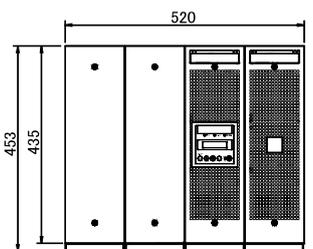
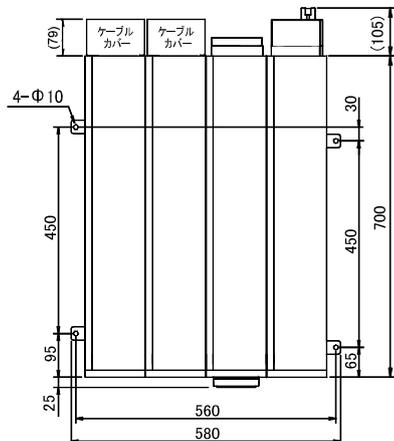
UPSS-50X3 35分、45分



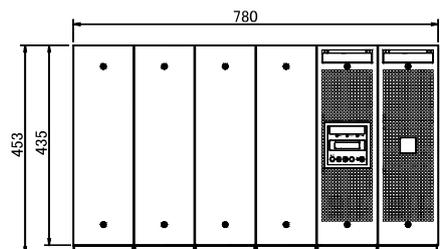
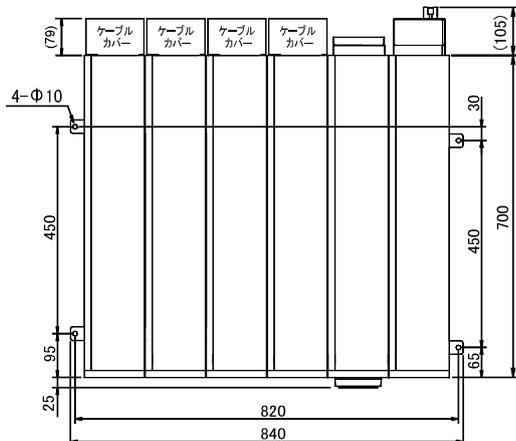
UPSS-100X3 15分



UPSS-100X3 25分



UPSS-100X3 35分

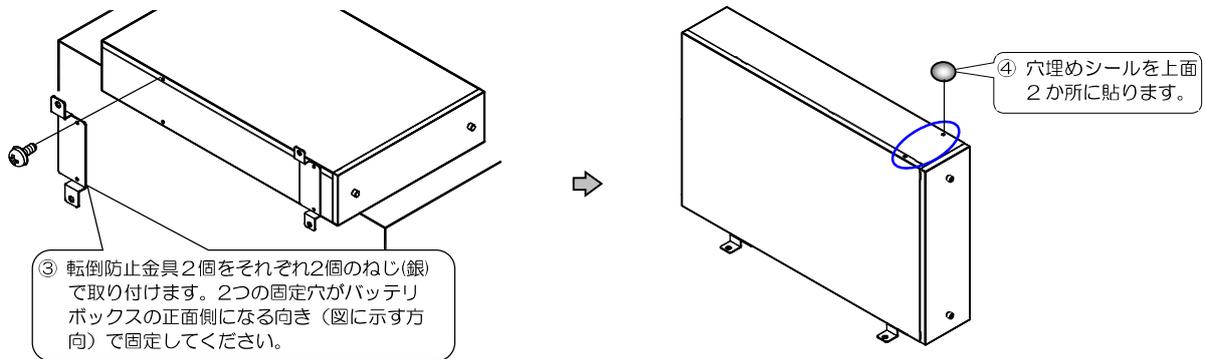


### 3. バッテリーボックスの設置・配線

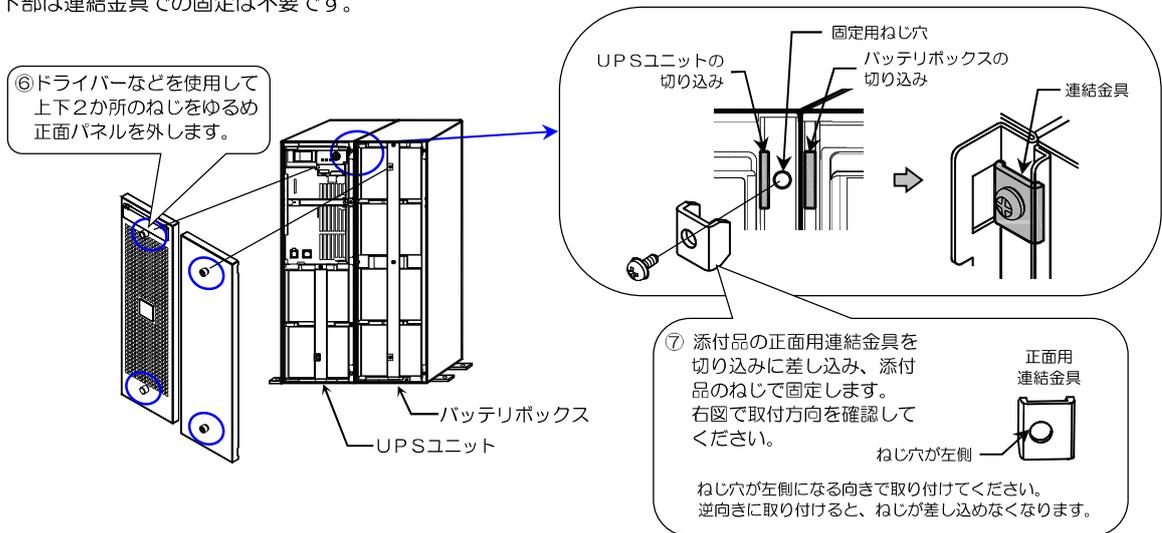
- ③ バッテリーボックスを机などの台の上に横置きにし、左側面の取付穴にねじで転倒防止金具を取り付けます。すべてのバッテリーボックスに転倒防止金具を取り付けてください。
- ④ 転倒防止金具側を下にして、バッテリーボックスをたて、穴埋めシールを上面2か所の穴に貼ります。
- ⑤ 設置場所に置きます。UPSユニットとバッテリーボックスの配置は、「床固定寸法図」「ケーブル配線図」で確認してください。

**ご注意**

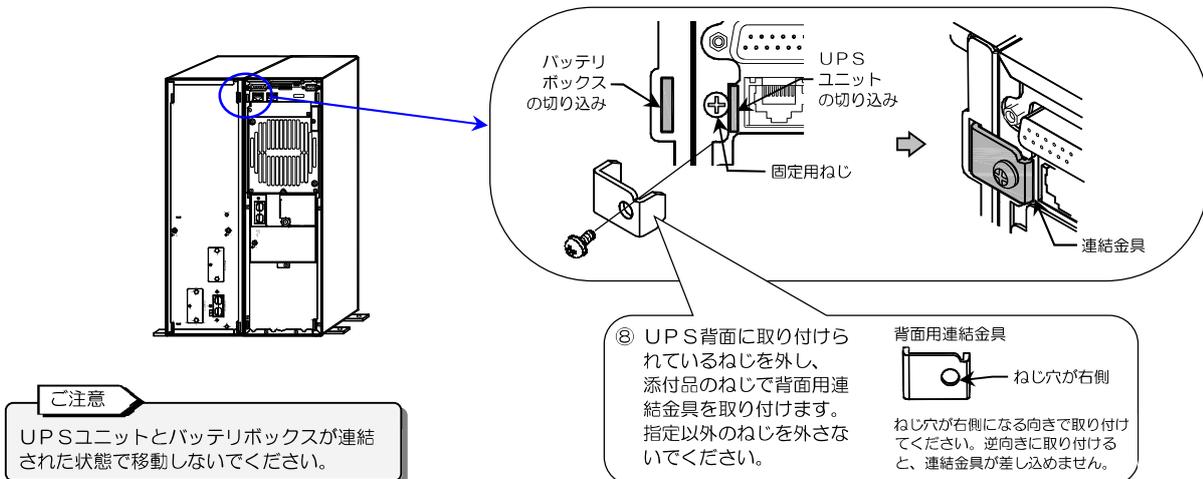
UPSユニット用の転倒防止金具、連結金具、固定用ねじはUPSユニットに添付されています。固定方法はUPSの取扱説明書をご覧ください。



- ⑥ UPSユニットとバッテリーボックスの正面パネルを取り外します。
- ⑦ ユニットの正面上部を連結金具で固定します。すべてのユニット間を連結金具で固定してください。正面下部は連結金具での固定は不要です。



- ⑧ ユニットの背面上部を連結金具で固定します。すべてのユニット間を連結金具で固定してください。背面下部は連結金具での固定は不要です。



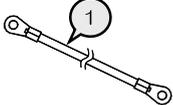
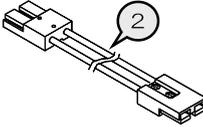
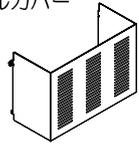
- ⑨ UPSユニット、バッテリーユニットをアンカーボルトで固定します。(左右各2か所)  
アンカーボルトは添付されていません。設置場所の床に合ったものをお客様で準備してください。
- ⑩ すべてのユニットが確実に連結されていること、床に確実に固定されていることを確認します。

### 3.4.2 UPSとバッテリーボックスを接続する

 <b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス員以外は配線作業をしないでください。取扱説明書の指示のとおり配線作業をしてください。配線作業に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。</li> <li>配線作業は、絶縁された手袋をするなどの対処をして行ってください。感電のおそれがあります。</li> <li>バッテリーボックスの配線は、UPSが停止し、入力電源が遮断されている状態で行ってください。感電、けが、やけどなどのおそれがあります。</li> <li>バッテリーボックスのコネクタの差し込み、ケーブルの接続にゆりみがないようにしてください。感電、けが、火災のおそれがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>UPSおよびバッテリーボックスは必ず接地してください。感電のおそれがあります。接地ができない場所では使用しないでください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルカバーを取り付けるときに手などをはさまないように注意してください。けがのおそれがあります。</li> </ul>

UPSユニットとバッテリーボックスを床に固定した後、UPSユニットとバッテリーボックス間を配線します。UPSの型名、バックアップ時間により配線方法が異なります。ご使用のUPSを確認し、取扱説明書の手順どおりに実施してください。UPSの配線方法につきましては、UPSの取扱説明書をご覧ください。

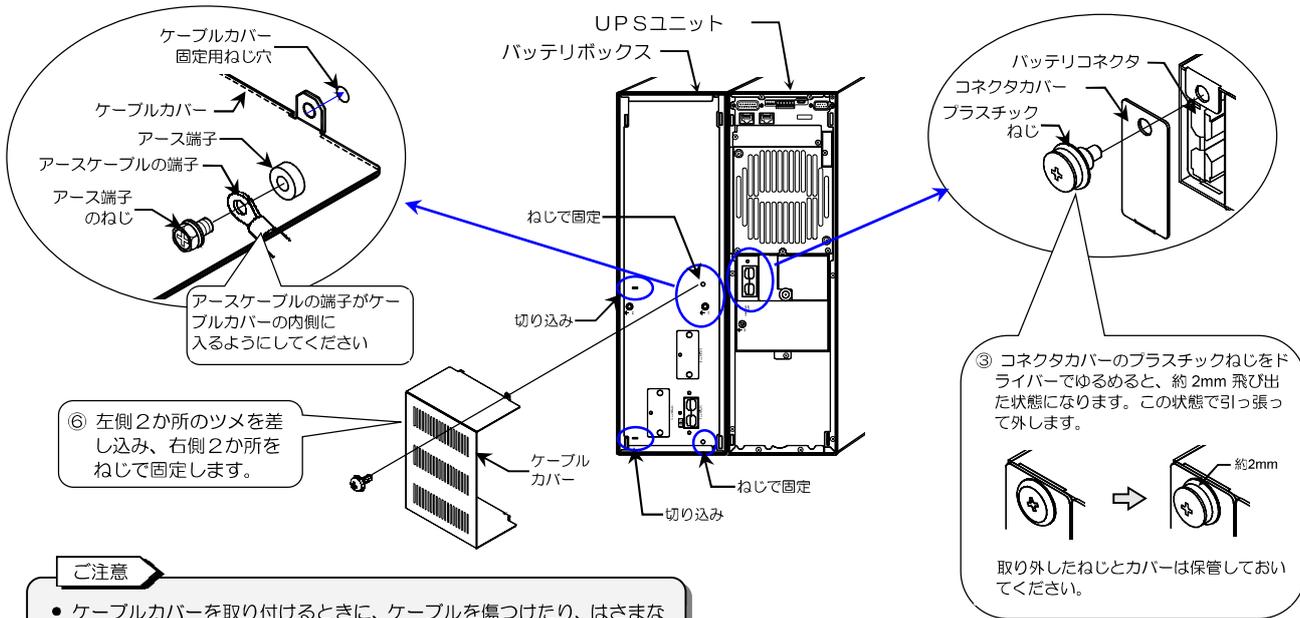
① 下記の添付品を用意します。

物品	アースケーブル 	バッテリーケーブル 	ケーブルカバー 1個 	ケーブルカバー 固定用ねじ M3×6 2個 
数量	ケーブルセット一式 数量は「1.4」項のケーブルセット内容一覧表で確認してください。		1式/バッテリーユニット1台	

- ② 次ページの「ケーブル配線図」の中で、①で示す位置のアース端子間を、アースケーブルで接続します。アース端子のねじをいったん取り外し、アースケーブルを固定してください。
- ③ UPSユニット背面の増設バッテリーコネクタ「EXT. BATTERY」のカバーを外します。外し方は下図をご覧ください。
- ④ 次ページの「ケーブル配線図」の中で、②で示す位置のバッテリーコネクタ間を、バッテリーケーブルで接続します。それぞれのコネクタ間に適した長さのケーブルを使用してください。コネクタを差し込む方向が違くと挿入できません。差し込む方向を確認してください。
- ⑤ すべてのケーブルが確実に接続されていることを確認します。
- ⑥ すべてのバッテリーボックスに添付品のケーブルカバーを取り付けます。

**配線時のご注意**

接続するコネクタの位置を確認し、正しく配線してください。指定以外のコネクタに接続すると停電時に仕様時間通りのバックアップができません。



**ご注意**

- ケーブルカバーを取り付けるときに、ケーブルを傷つけたり、はさまないように注意してください。
- 上図は、UPSS-50X3の背面図です。UPSS-100X3ではUPSとバッテリーボックスの配置が異なりますが同じ要領で作業してください。

3. バッテリーボックスの設置・配線

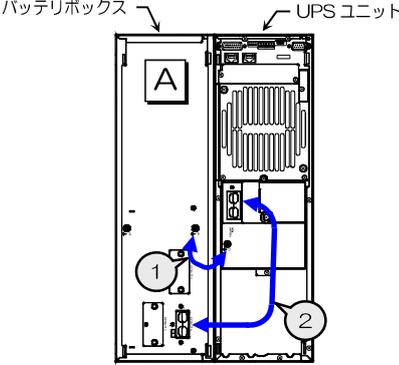
ケーブル配線図

図は、UPSユニットとバッテリーボックスを設置したときの背面図を示します。

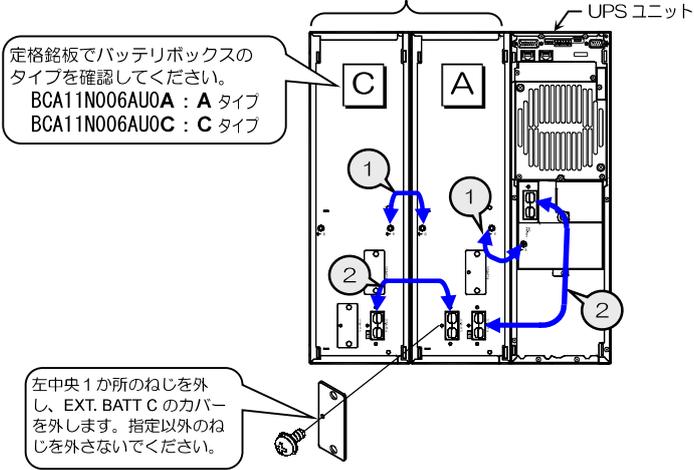
**ご注意**  
 接続するコネクタの位置を確認し、正しく配線してください。指定以外のコネクタに接続すると停電時に仕様時間とおりのバックアップができません。

UPSS-50X3

15分、25分

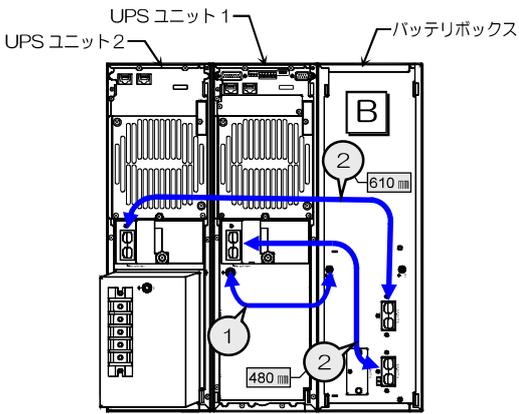


35分、45分

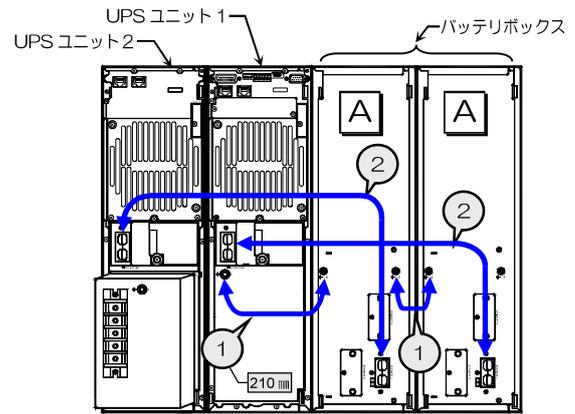


UPSS-100X3

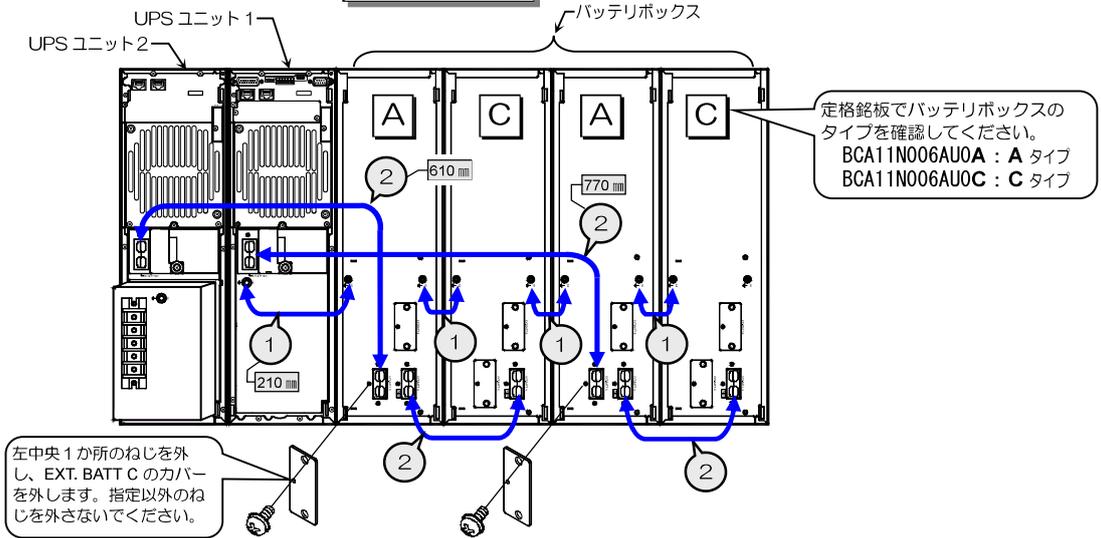
15分



25分



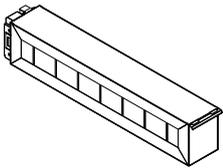
35分



### 3.4.3 バッテリーパックを搭載する

 <b>注意</b>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱説明書の指示のとおりバッテリーパックを搭載してください。作業に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。</li> <li>絶縁された手袋を着用して作業してください。感電のおそれがあります。</li> <li>バッテリーパックを落とさないように注意してください。正面パネルを取り付けるときに手などをはさまないように注意してください。けがのおそれがあります。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

① バッテリーパックを用意します。

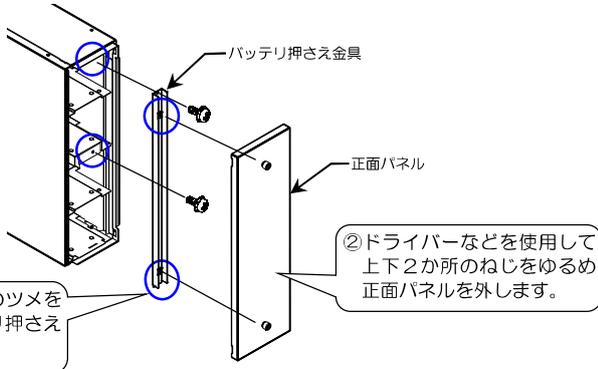
物品	 バッテリーパック
数量	必要数は「1.1」項を参照

**バッテリーパックの取り扱いについてのご注意**

- 使用するバッテリーパックは専用品です。指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。バッテリーの寿命低下、漏液、発熱の原因になることがあります。
- バッテリーパックの包装箱に衝撃などが加わった痕や、変形、電解液のにじみなどが無いかな、バッテリーパックに亀裂、変形などの損傷、電解液のにじみなどが無いかな、底面や角を含め全数目視による点検をしてください。
- 誤って落下させたバッテリーパック、強い衝撃を与えたバッテリーパックは使用しないでください。
- バッテリーパックに不良などがあった場合は使用を中止し、購入先または当社にご連絡ください。

② バッテリーボックスの正面パネルの上下2か所のねじをゆるめ、正面パネルを取り外します。

③ バッテリー押さえ金具を固定している2か所のねじを外し、バッテリー押さえ金具を取り外します。

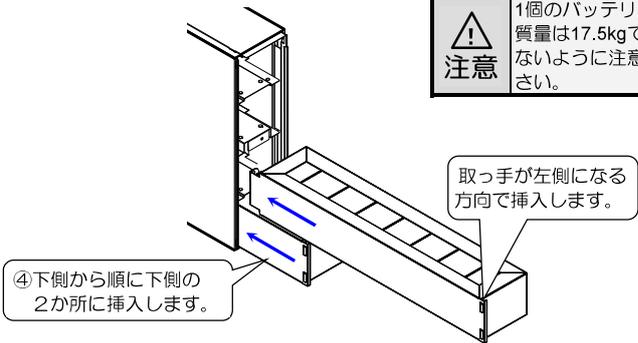


**ご注意**

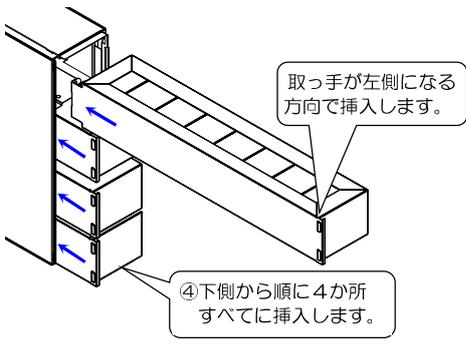
バッテリーボックスへ2個のバッテリーパックを搭載する場合は、必ず下側の2か所へ搭載してください。指定以外の場所に搭載すると、バッテリーが機能しません。

④ バッテリーパックをバッテリーボックスに搭載します。バッテリーパックを搭載する順番、搭載する位置を27～28ページの「バッテリーパック搭載位置図」で確認してください。

バッテリーボックスに2個のバッテリーパックを搭載する場合



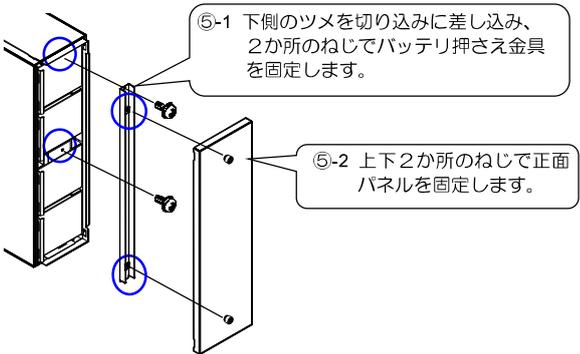
バッテリーボックスに4個のバッテリーパックを搭載する場合



**注意**  
1個のバッテリーパックの質量は17.5kgです。落とさないように注意してください。

⑤ バッテリー押さえ金具と正面パネルを取り付けます。

**バッテリー押さえ金具取り付け時のご注意**  
バッテリー押さえ金具は、バッテリーパックが正しく挿入されていないと取り付けられません。バッテリーパックを確実に奥まで押し込んでください。



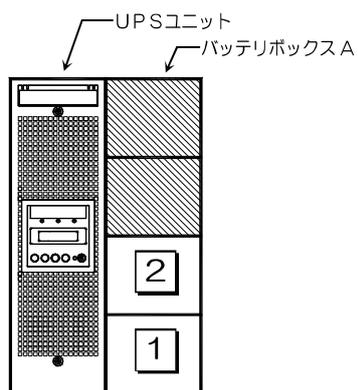
バッテリーパック搭載位置図

バッテリーパックを 1 の位置から順番に搭載してください。数字が記入されていない場所には搭載しないでください。  
記載されているバッテリーパック数にはUPSのバッテリーパック数は含まれません。UPSのバッテリーパックの搭載方法はUPSS-X3の取扱説明書をご覧ください。

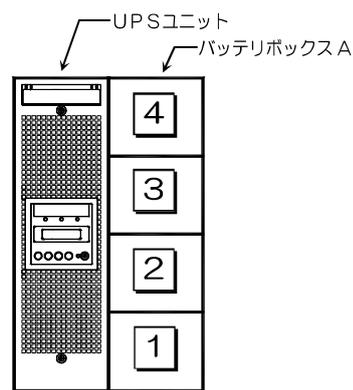
図は、UPSユニットとバッテリーボックスを設置したときの正面図を示します。

UPSS-50X3

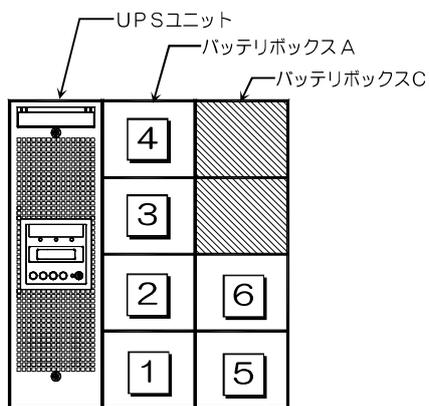
15分  
バッテリーパック数：2個



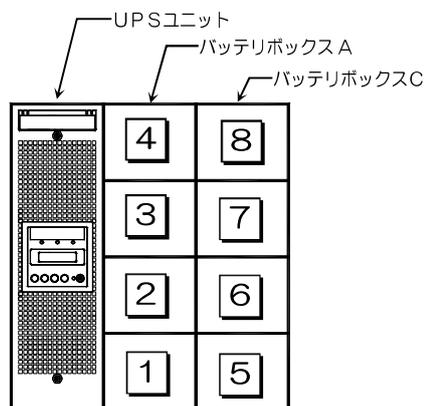
25分  
バッテリーパック数：4個



35分  
バッテリーパック数：6個



45分  
バッテリーパック数：8個

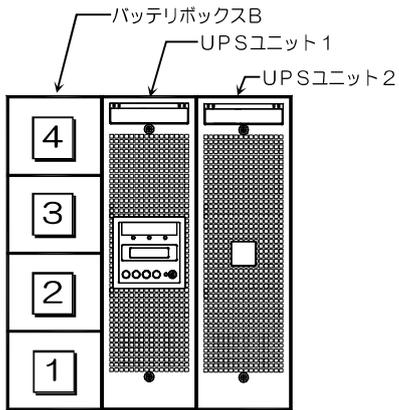


ご注意

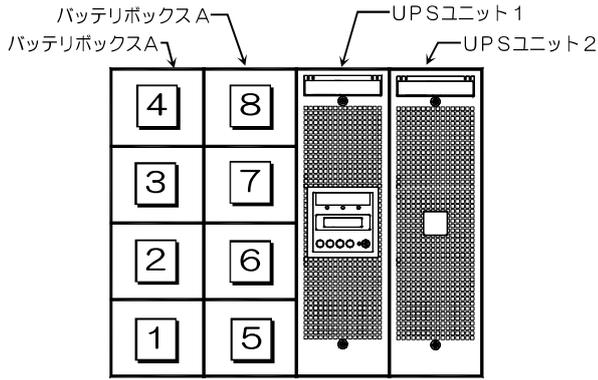
バッテリーパックは下から順番に搭載してください。上側から搭載するとバッテリーボックスが故障するおそれがあります。

**UPSS-100X3**

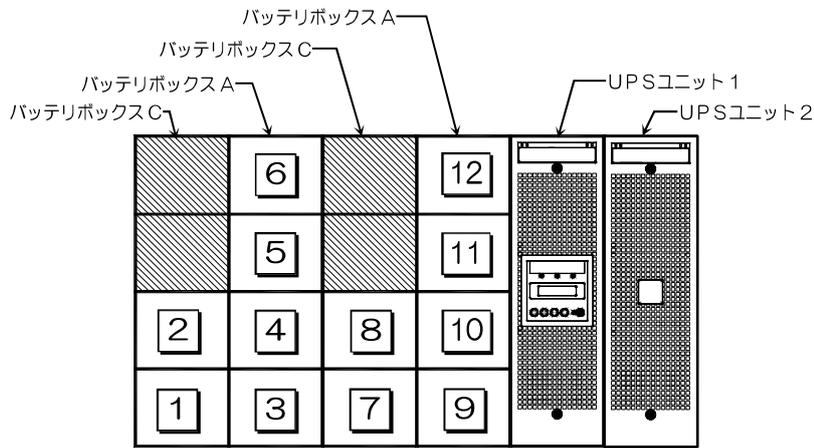
**15分**  
バッテリーパック数：4個



**25分**  
バッテリーパック数：8個



**35分**  
バッテリーパック数：12個



**ご注意**  
バッテリーパックは下から順番に搭載してください。上側から搭載するとバッテリーボックスが故障するおそれがあります。



「3.5 設置日ラベルを貼る」へ進みます。

## 3.5 設置日ラベルを貼る

今回のバッテリー交換のため、添付品の設置日ラベルにバッテリーボックスを設置した年月日を記入して、確認しやすい場所に貼り付けます。

- ① 添付品の「設置日／バッテリー交換日ラベル」を用意します。



1 枚

- ② 設置日／バッテリー交換日ラベルにバッテリーボックスを設置した年月日を記入します。  
油性ペンなど消えにくいペンを使用してください。
- ③ 記入済みの「設置日／バッテリー交換日ラベル」を貼り付けます。  
バッテリーボックスの正面など確認しやすいところに貼り付けてください。



### ご注意

- 設置日／バッテリー交換日ラベルは、日付を記入してから貼り付けてください。先にラベルを貼ると日付を記入しにくくなります。
- 吸排気、換気の妨げになりますので、設置日／バッテリー交換日ラベルをUPSの吸排気口、またはバッテリーボックスの換気口に貼らないでください。

## 4. 運転前の準備

### 4.1 バッテリーボックスとUPSを同時に新設する場合

- ① UPSとバッテリーボックスが正しく設置、接続されていることを確認します。  
ケーブルの接続位置が誤っていると、仕様どおりの時間がバックアップされません。
- ② UPSの取扱説明書「4.1 使用前の準備をする」の手順で、下記の作業をします。

1. 初期設定をする ⇨ 2. バッテリーを充電する ⇨ 3. 停電動作テストをする

初期設定で設定する「バックアップ時間」、「バッテリーの種別」は、ケーブルセットに添付されている「初期設定説明書」をご覧ください。設定値は、本書の「付録、バックアップ時間とバッテリー種別 設定値一覧」にも記載されています。

#### ご注意

バッテリーボックスを使用する場合は、UPSに添付されている「初期設定説明書」では設定しないでください。バックアップ時間を正しく設定しないと、バッテリーが十分に充電されないことがあります。

充電時間は、バックアップ時間により異なります。下表で充電時間を確認してください。

UPS型番 (MODEL)	バックアップ時間	充電時間
UPSS-50X3	15分	19時間
	25分	20時間
	35分	21時間
	45分	23時間
UPSS-100X3	15分	19時間
	25分	20時間
	35分	21時間
UPSS-150X3	15分	19時間
UPSS-200X3	15分	19時間

- ③ UPSとバッテリーボックスが正常に機能していることを確認します。

#### ご注意

停電時に確実にバックアップするためには指定時間以上の充電が必要ですが、UPSを運転するとバッテリーは充電されますので、UPSの初起動時、十分に充電されていない場合でも、負荷機器を接続してご使用になれます。ただし、この段階で停電が発生すると、UPSのバックアップ機能が十分に発揮されない場合があります。

## 4.2 既設UPSのバッテリーボックスを変更する場合

### 4.2.1 作業手順

- ① UPSとバッテリーボックスが正しく設置、接続されていること確認します。  
ケーブルの接続位置が誤っていると、仕様とおりの時間がバックアップされません。
- ② UPSを起動し、バッテリー情報をリセットします。操作方法は、「4.2.2 バッテリー情報をリセットする」をご覧ください。  
UPSの運転操作は、UPSの取扱説明書をご覧ください。
- ③ バッテリーバックアップ時間を設定します。設定方法は「4.2.3 バックアップ時間を設定する」をご覧ください。  
設定するバックアップ時間は、ケーブルセットに添付されている「初期設定説明書」をご覧ください。設定値は、本書の「付録、バックアップ時間とバッテリー種別 設定値一覧」にも記載されています。
- ④ バッテリー種別を設定します。設定方法は「4.2.4 バッテリー種別を設定する」をご覧ください。  
設定する種別は、ケーブルセットに添付されている「初期設定説明書」をご覧ください。設定値は、本書の「付録、バックアップ時間とバッテリー種別 設定値一覧」にも記載されています。
- ⑤ バッテリーを充電します。充電方法はUPSの取扱説明書「4.1 使用前の準備をする」をご覧ください。  
充電時間は、バックアップ時間により異なります。下表で充電時間を確認してください。

UPS型番 (MODEL)	バックアップ時間	充電時間
UPSS-50X3	15分	19時間
	25分	20時間
	35分	21時間
	45分	23時間
UPSS-100X3	15分	19時間
	25分	20時間
	35分	21時間
UPSS-150X3	15分	19時間
UPSS-200X3	15分	19時間

- ⑥ 停電動作テストをします。UPSの取扱説明書「4.1 使用前の準備をする」をご覧ください。
- ⑦ UPSとバッテリーボックスが正常に機能していることを確認します。

#### ご注意

- 上記の手順③でバックアップ時間を正しく設定しないと、バッテリーが十分に充電されないことがあります。
- 停電時に確実にバックアップするためには指定時間以上の充電が必要ですが、UPSを運転するとバッテリーは充電されますので、UPSの初起動時、十分に充電されていない場合でも、負荷機器を接続してご使用になれます。  
ただし、この段階で停電が発生すると、UPSのバックアップ機能が十分に発揮されない場合があります。
- バッテリーボックスを変更する場合は、UPSシステム全体のバッテリーパックを新しいものに交換してください。バッテリー管理機能が正しく動作しません。

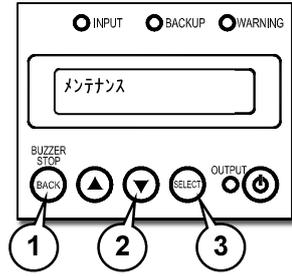


### 4.2.3 バックアップ時間を設定する

UPSのバックアップ時間を設定します。

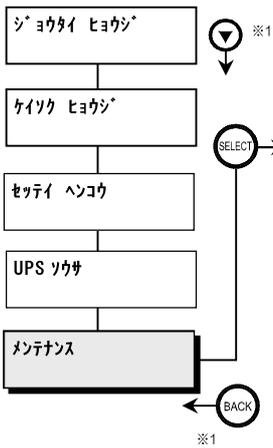
設定するバックアップ時間は「付録、バックアップ時間とバッテリー種別 設定値一覧」をご覧ください。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**メンテナンス** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。  
各階層で同様に操作し、「操作グループ」→「操作項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：バックアップ時間を「5分」から「35分」に変更する場合

ホームメニュー



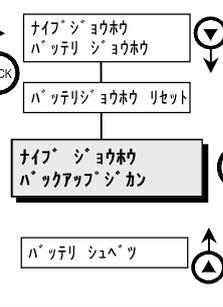
操作グループ



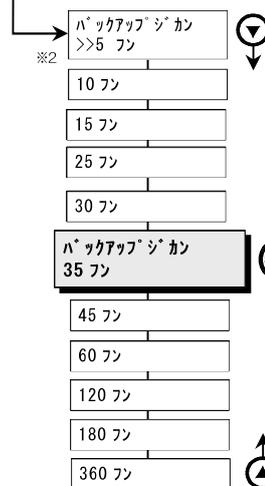
操作項目



操作項目



設定値



確認

[SELECT] = ケッテイ  
[BACK] = キャンセル

確定

バックアップ ジカン  
>>35 分

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
5 分	5 分
10 分	10 分
15 分	15 分
25 分	25 分
30 分	30 分
35 分	35 分
45 分	45 分
60 分	60 分
120 分	120 分
180 分	180 分
360 分	360 分

UPSに接続されているバッテリーに合わせて、バックアップ時間を設定してください。

35分バックアップ用のバッテリーが接続されているときは、設定値「35分」を選択してください。「45分」を選択しても実際のバックアップ時間は45分にはなりません。

**ご注意**

- バックアップ時間は記載されている手順で正しく設定してください。正しく設定されていないと、バッテリーが十分に充電されないことがあります。
- バックアップ時間の設定値を変更すると、自動的にバッテリー情報（バッテリー寿命情報）がリセットされます。

**ポイント**

※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。  
**▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。

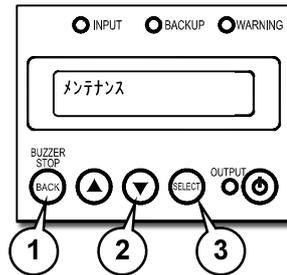
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

### 4.2.4 バッテリー種別を設定する

このバッテリーボックスのバッテリー種別は「5年（鉛バッテリー）」です。  
 「5年（鉛バッテリー）」以外に設定されている場合は、下記の手順で「5年（鉛バッテリー）」に設定してください。  
 「5年（鉛バッテリー）」に設定されている場合は、設定を変更しないでください。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**メンテナンス** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。  
 各階層で同様に操作し、「操作グループ」→「操作項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

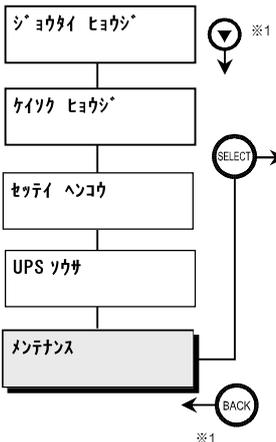


例：バッテリー種別を「10年鉛」から「5年鉛」に変更する場合

**ポイント**

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。  
**▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。  
 現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

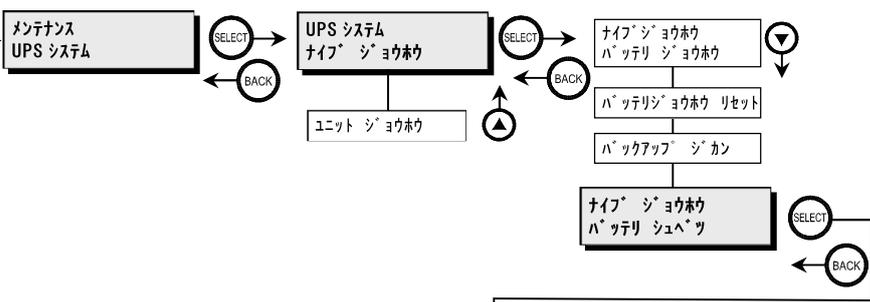
ホームメニュー



操作グループ

操作項目

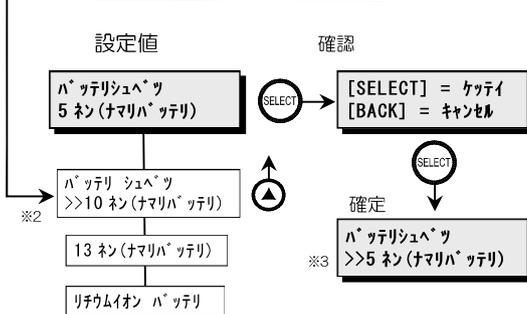
操作項目



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
5 年(ナリハ バッテリ)	5 年 (鉛バッテリー)
10 年(ナリハ バッテリ)	10 年 (鉛バッテリー)
13 年(ナリハ バッテリ)	13 年 (鉛バッテリー)
リチウムイオン バッテリ	リチウムイオンバッテリー

本バッテリーボックスの設定値  
 設定しないでください。



**ご注意**

- バッテリーの種類の設定値を変更すると、自動的にバッテリー情報（バッテリー寿命情報）がリセットされます。
- 設定を変更した後は、UPS を再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。  
 UPS を停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS 状態表示に「サイトウ ショクサイ」が表示されているときは、設定変更後に UPS が再起動されていない状態です。UPS を再起動してください。

# 5. 点検・保守

 <b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス員※<sup>1</sup>以外はバッテリーボックスの点検・保守をしないでください。感電、けが、やけど、発煙、発火などのおそれがあります。</li> <li>バッテリーが接続されており、電気部品は充電されていますので絶対に手を触れないでください。感電のおそれがあります。</li> <li>バッテリーの清掃には、ガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や洗剤などを使用しないでください。これらを付着させると電槽にひび割れをおこし漏液して、漏電や火災の原因になることがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーは定期的に交換してください。交換時期を過ぎたバッテリーは、火災の原因になることがあります。</li> <li>点検は、バッテリーボックスを完全に停止させ入力電源を遮断してから行ってください。感電、けが、やけどなどのおそれがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃には、濡れた布などを使用しないでください。感電のおそれがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃するときに、UPSの出力に掃除機を接続しないでください。発煙、発火のおそれがあります。</li> </ul>

※<sup>1</sup>サービス員とは・・・

電気設備施工に関する専門知識を有するサービス技術員、または当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。当該サービス員以外は施工・保守作業を実施しないでください。

日常、次の項目をチェックしてください。

チェックする項目・内容	対応
UPSおよびバッテリーボックスから異常な振動、異常な発熱、変な音、変な臭いがしていないですか？	異常がある場合は、すぐに運転を停止して、購入先または当社までご連絡ください。
UPSおよびバッテリーボックスの外観に傷や変形はないですか？	UPSおよびバッテリーボックスの内部に影響があるようなへこみなどの損傷、変形がある場合は、購入先または当社までご連絡ください。危険ですので、そのままの状態で使用しないでください。
UPSおよびバッテリーボックスの周辺は適切な環境になっていますか？	<p>使用環境は温度 0~40℃、相対湿度10~90% です。                      設置環境が適切でないと、UPSおよびバッテリーボックスが故障するおそれがあります。設置場所がつぎのような環境の場合は、環境を改善してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 直射日光が当たる場所、周囲温度が+40℃を超える場合</li> <li>● 通気性の悪い場所、閉切った場所、通気が妨げられる場所、指定された通気スペースが取れない場所</li> <li>● 濡れたり、結露したりする場所、高温の場合</li> <li>● ストープなどの熱源から熱を直接受ける場所</li> <li>● 粉塵、腐食性ガス、塩分、可燃性ガスがある場所</li> <li>● 船舶、飛行機、移動用車両の中など、その他特殊な環境</li> <li>● 高い場所、不安定な場所、床の強度が不十分な場所</li> <li>● 屋外</li> <li>● 火花が発生する機器の近傍</li> <li>● 標高 2000m を超える場所</li> <li>● 振動、衝撃がある場合</li> </ul>
UPSおよびバッテリーボックスの正面、背面に指定されたスペースが確保されていますか？周囲に物が積み重なっていたり、吸排気口が障害物でふさがれていないですか？	周囲の指定スペースは「3.2 設置スペースを確認する」をご覧になり確認してください。周囲に物が積み重なっていたり、吸排気口をふさぐ障害物がある場合は、取り除いてください。吸排気用スペースがふさがれていると、装置内部の温度が上昇し、発煙、発火、故障の原因となります。
UPSおよびバッテリーボックスの吸排気口、換気口にゴミ、ホコリがついていませんか？	ゴミ、ホコリがついている場合は除去してください。ゴミなどが内部の部品につくと故障の原因となります。
端子台に接続されている入出力ケーブル、負荷機器の電源コードがはさまれたり、つぶされたりしていませんか？	ケーブル、電源コードが破損すると感電、火災のおそれがあります。ものが乗っていたり、無理な力がかかっている場合は、改善してください。
バッテリーは劣化していませんか？停電時に負荷機器をバックアップできる状態になっていますか？定期的にバッテリーバックアップテストの結果を確認してください。	UPSは工場出荷時には180日に1回、自動的にバッテリーテスト実施するように設定されています。定期的にバッテリーバックアップテストの結果を確認し、判定結果により、バッテリー交換の依頼をしてください。

### バッテリー交換時期の目安

バッテリーの寿命は、周囲温度、放電回数など使用条件によって変動します。特に温度による影響は大きく、周囲温度が高いとバッテリー寿命は下表のように短くなります。また、頻繁に停電が発生する環境で使用した場合、バッテリー寿命はさらに短くなります。

使用温度環境	バッテリー期待寿命※	バッテリー交換時期
25℃	5 年	4.5年
30℃	3.5年	3 年
35℃	2.5年	2 年
40℃	1.7年	1.5年

寿命を過ぎたバッテリーを使用すると、液漏れが発生し最悪の場合は、発煙、発火のおそれがあります。予防保全のためお早めに交換を依頼してください。

※ バッテリーの期待寿命は保証値ではありません。

## 6. 仕様

### バッテリーボックス

UPS		バックアップ時間 ※2 [分]	バッテリーボックス ※1					バッテリー結線 ※4			バッテリー合計容量 ※4 [Wh]
型番 (MODEL)	UPS ユニット 台数		型番	台数	バッテリー パック数※3	定格容量 (20時間率) [Ah]	公称 電圧 [V]	直列	並列	回路	
UPSS-50X3	1	15	BCA11N006AU0A	1	2	6	192	16	2	1	2400
		25	BCA11N006AU0A	1	4	6	192	16	3	1	3600
		35	BCA11N006AU0A	1	4	6	192	16	4	1	4800
			BCA11N006AU0C	1	2						
		45	BCA11N006AU0A	1	4	6	192	16	5	1	6000
BCA11N006AU0C	1		4								
UPSS-100X3	2	15	BCA11N006AU0B	1	4	6	192	16	2	2	4800
		25	BCA11N006AU0A	2	8	6	192	16	3	2	7200
		35	BCA11N006AU0A	2	8	6	192	16	4	2	9600
			BCA11N006AU0C	2	4						
UPSS-150X3	3	15	BCA11N006AU0B	2	6	6	192	16	2	3	7200
UPSS-200X3	4	15	BCA11N006AU0B	2	8	6	192	16	2	4	9600

※1. バッテリーの期待寿命は約5年(25℃)です。期待寿命は保証値ではありません。周囲温度が30℃を超える環境で使用するとバッテリー寿命が短くなります。

※2. UPSの出力容量が負荷率0.8(遅れ)での時間です。  
バックアップ時間は、バッテリーボックスとUPSに搭載されているバッテリー容量を合計した場合の時間です。

負荷率によるUPS出力容量

UPS 型番	負荷率0.8(遅れ)
UPSS-50X3	5kVA / 4kW
UPSS-100X3	10kVA / 8kW
UPSS-150X3	15kVA / 12kW
UPSS-200X3	20kVA / 16kW

※3. バッテリーパックの数量は、バッテリーボックスに搭載される数量です。UPSに搭載されているバッテリーパック数は含みません。  
UPSユニット1台には2個のバッテリーパックが搭載されます。

※4. バッテリー結線およびバッテリー合計容量の値は、UPSに搭載されているバッテリーを含みます。

### 交換用バッテリーパック

バッテリーパック		バッテリーパックに搭載のバッテリー				
型番	メーカー名	型番	メーカー名	バッテリー個数	バッテリー結線	定格電圧
BPA11N006AU0M	UPSソリューションズ	HRL1225WF2FR	CSB Energy Technology	8	8直列	96V

UPSユニットとバッテリーボックスのバッテリーパックの交換に必要な数量は、UPSの型番とバックアップ時間によって異なります。  
下表で確認してください。

UPS	バックアップ時間 [分]	バッテリーパック数		
		UPS	バッテリーボックス	合計
UPSS-50X3	15	2	2	4
	25	2	4	6
	35	2	6	8
	45	2	8	10
UPSS-100X3	15	4	4	8
	25	4	8	12
	35	4	12	16
UPSS-150X3	15	6	6	12
UPSS-200X3	15	8	8	16

# 付録. バックアップ時間とバッテリー種別 設定値一覧

「バックアップ時間」と「バッテリー種別」の設定値は下表のとおりです。設定番号を確認して、設定してください。

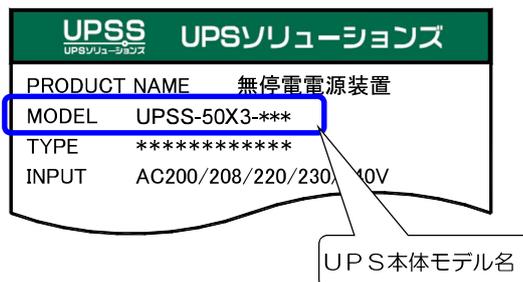
間違った設定でお使いになると、バッテリーへの充電やバッテリー情報の表示が正しく機能しません。  
設定値を間違えてしまった場合は、初期設定完了後、メンテナンスメニューから変更することができます。

## (1) 設定番号の確認

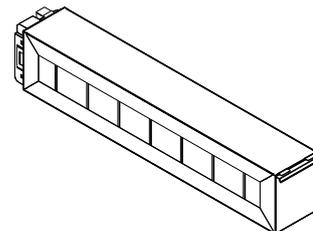
UPS本体のモデル名、および搭載するバッテリーパックの数量を確認し、該当する設定番号を確認します。

UPSモデル名 (MODEL)	バッテリーパックの数量	設定番号
UPSS-50X3	4 台	①
	6 台	②
	8 台	③
	10 台	④
UPSS-100X3	8 台	①
	12 台	②
	16 台	③
UPSS-150X3	12 台	①
UPSS-200X3	16 台	①

<UPS本体の定格銘板>



<バッテリーパック外形図>



## (2) 設定値の確認

確認した設定番号の「バックアップ時間」と「バッテリー種別」を設定してください。

<設定値>

設定番号	バックアップ時間	バッテリーの種別	備考
①	15 フン	5ネン	15分、5年（鉛バッテリー）
②	25 フン	5ネン	25分、5年（鉛バッテリー）
③	35 フン	5ネン	35分、5年（鉛バッテリー）
④	45 フン	5ネン	45分、5年（鉛バッテリー）

## (3) ご注意

- バッテリーの種類の設定値を変更すると、自動的にバッテリー情報（バッテリー寿命情報）がリセットされます。
- 設定を変更した後は、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「**サイドウ シンカ サイ**」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。UPSを再起動してください。

## UPSソリューションズ株式会社

【本社】〒101-0032

東京都千代田区岩本町 2-13-6 ミツボシ第3ビル

TEL : 03-5833-4061 FAX : 03-3861-0920

テクニカル・サポートグループ

【中部支店】〒464-0074

名古屋市千種区仲田 2-15-12 ワークビル 4F

TEL : 052-734-9200 FAX : 052-734-9500

【北海道営業所】〒060-0004

札幌市中央区北4条西 12-1-28 北4条ビル 7F

TEL : 011-280-0015 FAX : 011-280-0016

【西日本支店】〒532-0011

大阪市淀川区西中島 5-3-10

イトーピア新大阪ビル 3F

TEL : 06-6838-4881 FAX : 06-6838-4882

【九州営業所】〒812-0011

福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第7岡部ビル 3F

TEL : 092-481-3441 FAX : 092-481-3442

[https:// www.ups-sol.com/](https://www.ups-sol.com/)      [support@ups-sol.com](mailto:support@ups-sol.com)

受付時間 平日 9:00~18:00 (当社休日を除く)

本取扱説明書に記載された会社名と商品名は、それぞれ各社の称号、商標または登録商標です。

※本取扱説明書記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

各種ダウンロード URL <https://www.ups-sol.com/download/index.html>